

# 新潟市総合計画審議会 意見対応表(案)

参考資料

素案修正箇所は赤字

No.	区分	意見	意見に対する市の考え方	対応する文章
1	まちづくりの理念	環境の重要性が年々高まる中、単に自然と共存するのではなく、里山・里海・里潟のように市民と自然が共生するとともに、田園とともに自然をベースにしたまちづくりを目指していくといった方向性を打ち出していったほうが、新潟市の独自性が明確になるのではないかと。	この計画において、「都市」には、インフラや建物の他、そこに生きる人々も、「田園」には、田畑だけでなく田園地域が有する豊かな自然を含めて記載しています。新潟市のまちづくりにおいて、自然を含む田園がいかに重要であるかについては、基本構想等に記載していますが、加えて、ご意見をふまえ都市や人と自然などとの共生について、右のとおり修正します。	<p>P8 基本構想 3 目指す都市像</p> <p>三側面の豊かさが高まることで実現されるまちの姿や市民の暮らしのイメージ ◎豊かな環境 「◆ゼロカーボンシティ、循環型社会に向けたまちづくりが進み、自然環境と調和し<b>共生</b>しています」</p> <p>P52 3 新潟市の強み (1) 新潟市の強み ①都市と田園の調和によりもたらされる暮らしやすさ 豊かな自然・田園環境と生物多様性 「越冬数日本一を誇るコハクチョウをはじめ、豊かな自然の中で暮らす多様な生物と<b>共生</b>しています。」</p> <p>「令和4(2022)年5月には、潟をはじめとする湿地に関する取組が国際的に評価され、ラムサール条約の湿地自治体に国内で初めて認証されました。」</p> <p>「このように、新潟市は、都市部から一足伸ばせば豊かな自然との共生を五感で感じることができます。都市と田園がバランスよく<b>共生</b>・共栄しており、都会と田舎の良さを併せ持つ、暮らしやすいまちであることが、新潟市の最大の特色です。」</p> <p>P181 6 各分野の政策・施策 (2) 各分野の政策・施策 政策14 まちづくり 新潟市の現状/将来を見据えた課題 「コンパクトなまちづくりの現状」 ○都市と田園が調和・<b>共生</b>している都市構造は新潟市の大きな特徴です。豊かな田園や自然に包まれた集落の維持・活性化が求められています。</p> <p>P183 6 各分野の政策・施策(2)各分野の政策・施策 政策14 まちづくり 施策1 コンパクト・プラス・ネットワークのまちづくり ①コンパクトなまちづくりの推進 ○都市と田園・自然が調和・<b>共生</b>し、多様な個性や魅力があふれる地域の集合体であるという新潟市の強みを活かし、多核連携型のまちづくりに取り組みます。</p> <p>P235 7 区におけるまちづくりの方向性(2)区ビジョン基本方針 中央区 目指す区のすがた 「水と緑に囲まれた自然と都市が<b>共生</b>するまち」</p>
2	まちづくりの理念	「心の豊かさ」は抽象的なので、市民の理解を促すため国の示すウェル・ビーイングの概念などを参考に説明を工夫してはどうか。	ご意見を踏まえ、ウェル・ビーイングの概念を参考に、右のとおり修正します。	<p>P6 基本構想 2 まちづくりの理念 これからのまちづくり 「心の豊かさを測るものさしは、一人一人の価値観や、<b>身体的・精神的・社会的な状態</b>によって異なるものですが、心豊かな暮らしを送るためには、明るい未来が展望できる、将来への安心感が<b>欠かせません</b>。」</p>

No.	区分	意見	意見に対する市の考え方	対応する文章
3	まちづくりの理念	「新潟市の現状・時代の潮流」の部分における、新潟市の現状の記載について、課題を明確にする上にも、強みだけでなくネガティブな現状も記載してはどうか。	<p>「まちづくりの理念」の「新潟市の現状・時代の潮流」においては、前段では本市の現状について、後段では全国的な時代の潮流について、その事実を説明する構成としており、人口減少については、新潟市も含めた全国的な課題として後段部分に記載しています。</p> <p>なお、ご意見のとおり、新潟市の人口減少の状況についてもしっかりと記載する必要があると考えていることから、基本計画の冒頭、1総論、(1)人口ビジョンにおいて詳細の分析を記載しています。</p>	<p>P13-P16 1 総論 (1)人口ビジョン ①人口の現状分析 ②人口の将来展望</p>
4	まちづくりの理念	「これからのまちづくり」の一部で、一般論と新潟市のまちづくりの語が混在しているため、両者を区別し、論旨が明確になるよう工夫してはどうか。	<p>「新潟市の現状・時代の潮流」で記載した、全国的な時代潮流を背景に、心の豊かさの重要性が高まっており、心豊かな暮らしには、(一般論として)明るい未来が展望できる将来への安心感が不可欠であると認識しています。</p> <p>だからこそ、新潟市においては、活力あふれるまちを築き、それを将来にわたって持続させる必要があり、そのためにも持続可能な開発目標であるSDGsの考え方を踏まえたまちづくりが必要だと考えています。ご意見を踏まえ、一般論と新潟市のまちづくりが混在しないよう、右のとおり修正します。</p>	<p>P6 2 まちづくりの理念 これからのまちづくり 「そのためには、<u>持続可能な経済成長や、ジェンダー平等の実現、気候変動の対策など、SDGsで掲げられている目標や考え方を意識しながら、「経済」、「社会」、「環境」の三側面の調和を図りつつ、それぞれの側面の豊かさを高めることが重要です。</u>」</p>
5	目指す都市像	目指す都市像は、総合計画の核心となる部分であるため、もう少し記載を追加してはどうか。また、1)ラムサール条約の湿地自治体に認定されたこと、2)「都市と田園の好循環」をテーマにしたSDGs未来都市に選定されたこと、3)新潟都心地区が「都市再生緊急整備地域」に指定されたことについては、目指す都市像の背景で重要であるので明記し、その他の箇所でもアピールしてはどうか。	<p>ご意見のとおり、総合計画の核心となる目指す都市像について、理解・共感いただくことは重要と考えており、そのためには目指す都市像とはどのようなまちかをイメージしていただく必要があると考えています。したがって、P8「三側面の豊かさが高まることで実現されるまちの姿や市民の暮らしのイメージ」において、都市像が実現した際のまちの姿や暮らしをよりイメージしやすいよう箇条書きで記載をしておき、これらが、目指す都市像を説明する記載であると考えています。</p> <p>なお、上記の考えがより伝わりやすくなるよう、P8の見出しおよびその説明文章について右のとおり修正します。</p> <p>ラムサール条約の湿地自治体への認定、SDGs未来都市への選定、都市再生緊急整備地域への指定については、ご意見をふまえ、右のとおり修正します。</p>	<p>P8 基本構想 3 目指す都市像 <u>目指す都市像のイメージ</u> <u>「新潟市が目指す都市像について、「経済」、「社会」、「環境」の三側面ごとに、そのイメージを記載します。」</u></p> <p>P37 2 新潟市を取り巻く状況 (1)新潟市のあゆみ 新しい時代のまちづくり 「また、令和3(2021)年9月には新潟都心地域が都市再生緊急整備地域に指定され、周辺において築50年以上の民間ビルの建て替えなどの動きも活発化しています。」</p> <p><u>「令和4(2022)年5月には、潟をはじめとする湿地に関する取組が国際的に評価され、ラムサール条約の湿地自治体に認証されました。また同月、「都市と田園の好循環」をテーマとした提案により、SDGs未来都市に選定されました。」</u></p> <p>「新型コロナウイルス感染症により、新潟市民の生活・経済・社会など様々な面に影響が及び、人々の意識や価値観、社会が変化する中、まちづくりの大きな転換期を好機として、<u>豊かな自然環境を有する田園地域と都市部が調和する新潟市の強みを活かし</u>、さらなる発展につなげる取組を進めています。」</p> <p>P73 5 重点戦略1 都市機能の充実と拠点性の向上 戦略展開の方向 「これまで進めてきたJR新潟駅の約60年ぶりのリニューアルと新潟駅周辺整備により、鉄道を挟んだ南北市街地がつながり、新潟駅周辺から万代、古町を結ぶ都心軸が生まれ変わります。そして、「にいがた2km」と名付けた都心エリアでは、<u>都市再生緊急整備地域の指定を機に</u>民間事業者による再開発の動きが活発化するなど、「まちづくりの大きな転換期」を迎えています。」</p> <p>P92 5 重点戦略9 脱炭素・循環型社会の実現 戦略展開の方向 <u>「ラムサール条約の湿地自治体として国内で初めて認定された新潟市の強みである、日本海、2つの大河、16の潟などの水辺空間や豊かに広がる田園・里山など、多様で美しい自然環境を将来世代に引き継ぐためには、脱炭素・循環型社会の実現に向けた戦略展開が重要です。」</u></p> <p>P215 持続可能な行財政運営 3多様な主体との連携 施策1 SDGsを共通言語とした連携の推進 ①SDGsを共通言語とした連携の推進 <u>○SDGs未来都市に選定されたことを契機に</u>、各分野の政策・施策を推進するにあたり、SDGsを共通言語として市民・民間事業者・国・県・他市町村など、多様な主体とパートナーシップを築いていくとともに、SDGsの普及啓発にも努めていきます。</p>

No.	区分	意見	意見に対する市の考え方	対応する文章
6	目指す都市像	これからのまちづくりは、市民及び多様な主体とのパートナーシップが、中核的な推進力となることをわかりやすく示してはどうか。	ご意見を踏まえ、右のとおり修正します。	P6 基本構想 2 まちづくりの理念 これからのまちづくり 「人口減少時代において、『活力あふれるまちづくり』と『持続可能なまちづくり』を重ね合わせて推進するためには、 <b>市民の新潟への誇りと愛着を育むとともに、市民や民間事業者を含め、多様な主体とのパートナーシップのもと</b> 、新潟市の強みを最大限に活かしながら、総力を挙げて取り組む必要があります。」
7	目指す都市像	三側面の豊かさが高まることで実現されるまちの姿や市民の暮らしのイメージの「豊かな経済」の項目に、近隣地域と連携・交流した地域活性化の視点を加えてはどうか。	「三側面の豊かさが高まることで実現されるまちの姿や市民の暮らしのイメージ」では、こうした政策・施策を展開することで実現するまちの姿や市民の暮らしのイメージを記載しています。 なお、近隣地域と連携・交流した地域活性化の視点は重要と考えており、「政策10 観光・交流」や、「持続可能な行財政運営3 多様な主体との連携」において右のとおり記載しています。	P162 政策10 観光・交流 施策1 新潟の魅力と優れた拠点性を活かした交流人口の拡大 ②新潟の個性・魅力と拠点性を活かした誘客の促進 ○国際港・国際空港や高速道路、新幹線といった高速交通ネットワークを有する拠点性を活かし、ハイレベルな国際会合・スポーツ大会等を含むMICE誘致、および佐渡市や会津若松市をはじめとする県内外の自治体との広域連携により、誘客を促進します。 P216 持続可能な行財政運営 3多様な主体との連携 施策2 多様な主体との連携・協働による新しい価値の創造 ④ 国・県・他都市との連携 ⑤ 新潟広域都市圏における連携促進
8	目指す都市像	三側面の豊かさが高まることで実現されるまちの姿や市民の暮らしのイメージの「豊かな社会」の項目について、高齢化社会に対応した地域の医療や健康、福祉、介護の充実をもう少し強調した記載としてはどうか。	ご意見を踏まえ、右のとおり修正します。	P8 基本構想 3 目指す都市像 目指す都市像のイメージ 豊かな社会 「◆ 人権や多様性を尊重し、互いに支え合いながら、 <b>健康で、安心して暮らしています</b> 」
9	目指す都市像	三側面の豊かさが高まることで実現されるまちの姿や市民の暮らしのイメージの「豊かな社会」の項目について、ワーク・ライフ・バランスの範囲を子育てと仕事だけに限定しない方が良いのではないかと。	ご意見を踏まえ、右のとおり修正します。	P8 目指す都市像 目指す都市像のイメージ 豊かな社会 「◆ <b>いきいきと働きながら、地域活動や子育てができたり、家族や友人との充実した時間が持てるなど、楽しく過ごしています</b> 」
10	人口ビジョン	市レベルの人口減少が、社会保障に及ぼす影響が大きいことについて示してはどうか。	ご意見のとおり、人口減少に伴う社会構造の変化により、新潟市においても社会保障に大きな影響が及ぶ恐れがありますので、ご意見をふまえ、右のとおり修正します。	P26 1 総論(1)人口ビジョン 人口減少段階の分析を踏まえた今後の方向性 「少子・超高齢社会の進行と若者層の東京圏流出などにより、人口の減少が見込まれるなか、特に生産年齢人口の減少は、労働力の不足、地域経済の縮小、地域を支える担い手の減少といったかたちで、企業活動や市民生活に様々な経済的・社会的影響をもたらすことが懸念されます。また、人口減少が続く <b>世代間バランスが変化</b> することで、インフラをはじめとする都市機能や、 <b>社会保障</b> など日常生活を支える各種サービスの維持が難しくなります。こうした <b>社会の機能</b> などが維持できなくなることで、都市の魅力や活力を低下させ、更なる人口減少を招く恐れがあります。人口が増加し続けていた時代から転じ、人口が減少していくこれからの時代においては、人口減少を和らげる施策や取組に加え、人口減少社会に適応していくための施策を展開する必要があります。」
11	将来想定される変化・課題を見据えた政策展開	バックキャストの視点に基づいた施策展開であることをもっと意識したものにしてはどうか。	「6(2)各分野の政策・施策」では、それぞれの政策について「新潟市の現状／将来を見据えた課題」を記載しており、それを踏まえた施策を記載しています。ご意見を踏まえ、そのことがわかるように右のとおり修正します。 なお、今後実施計画や分野別計画などにおいて施策を具体化する際にも、同様にバックキャストの視点を意識することで、将来想定される変化・課題に対応した取組を進めていきます。	P28 1 総論(2) 将来想定される変化・課題を見据えた政策展開 「そのため、本計画では <b>バックキャストを意識し、「6 各分野の政策・施策」において</b> 、現在直面している課題だけでなく将来にかけて想定される変化・課題も見据えながら、それを克服するために現時点から取り組む <b>政策・施策について記載</b> します。」
12	将来想定される変化・課題を見据えた政策展開	総務省の自治体戦略2040構想委員会の課題に対応する新潟市の課題を記載してはどうか。	「6(2)各分野の政策・施策」では、それぞれの政策について「新潟市の現状／将来を見据えた課題」を記載しています。その中で、自治体戦略2040構想などを参考に、新潟市において将来想定される変化・課題についても記載していることから、ご意見を踏まえ、そのことがわかるように右のとおり修正します。	

No.	区分	意見	意見に対する市の考え方	対応する文章
13	土地利用方針	自然環境の活用に関しては、ラムサール条約の精神であるワイズ・ユース(賢明な利用)の考え方を踏まえた記述としてはどうか。	ご意見を踏まえ、右のとおり修正します。	P30 1 総論(3)土地利用方針 方針の実現に向けた考え方 考え方1 「また、新潟市の特徴である広大な田園や海・河川・里山・里潟などの自然環境の保全・ <b>賢明な利用</b> に努め、それらを支える田園集落の維持活性化を図ることにより、田園・自然を市民共通の財産として守り育みます。」
14	土地利用方針	土地利用方針の考え方と基本理念・目指す都市像・重点戦略・区におけるまちづくりの方向性との整合性を図る必要があるのではないかと。	土地利用の方針については、計画全体における共通の考え方を示した総論の中に位置づけ、基本理念や重点戦略など、計画のあらゆる部分に考え方を反映させています。  なお、区におけるまちづくりの方向性においては、特に拠点間の連携といった考え方を明記することで、より方向性が明確になると考えますので、ご意見をふまえ、右のとおり修正します。	P220 7 区におけるまちづくりの方向性(1)区におけるまちづくりの方向性  また、地域のことを地域自らが考え、自らが行動できることを目指し、自治基本条例の制定や、区自治協議会の設置により、地域の特性を活かした自治を進めてきました。  <b>8つの区は、それぞれの地域を形づくってきた歴史と固有の文化、地域資源や風土に合った産業など、様々な特色と魅力にあふれています。それぞれの区の持つ特色と魅力が「新潟市」という集合体として一つになることで、「都市と田園の調和によりもたらされる暮らしやすさ」をはじめとした、新潟市の「強み」を生み出しています。人口減少時代に躍進する「活力あふれるまちづくり」と「持続可能なまちづくり」を進め「田園の恵みを感じながら 心豊かに暮らせる 日本海拠点都市」を実現するためには、区の特色を活かしたまちづくりを推進するとともに、区を超えた連携や多様な主体との協働を進め、その魅力を発展させ続けていくことが重要です。</b>  これまで以上に区の特徴を前面に押し出しながら、区の特徴を活かした活力と魅力あふれる区づくりを進められるよう、必要な予算や権限を持つ自治性の高い区役所を目指し、まちづくりの多様な主体と一体となって区政を推進していきます。
15	時代の潮流	社会課題の解決に向け、マイナンバーカードに連携した地域共通ID創設などのデジタル化によって、新潟市内で行政サービス、地域経済、生活福祉、医療情報の一体化を目指すことを記載してはどうか。	デジタル田園都市国家構想基本方針(令和4年6月7日 閣議決定)において、ご意見の健康医療データ(PHR)等の活用の重要性、今後の取組方針についての記載がありますので、本市においても、国の動向を注視していきます。  また、行政の高度化に向けて、データの重要性を認識しており、その利活用については、あらゆる分野で求められているため、持続可能な行財政運営 1 施策3に記載していましたが、より分かりやすくなるよう、右のとおり修正します。	P204 持続可能な行財政運営 1 施策3 ②DXによるスマートな行政の実現 ○データの重要性が増す中、行政の高度化などに向けて、市が保有するデータを利活用するための環境整備を進めます。」
16	時代の潮流	SDGsの原文に基づき、「誰一人取り残さない」ではなく「誰一人取り残されないと記載してはどうか。	ご意見を踏まえ、右のとおり修正します。	P49 2 新潟市を取り巻く状況(2)時代の潮流 ⑦多様性を認め合い共に生きる社会への意識の高まり 「SDGsは <b>誰一人取り残されない社会を実現することを理念に掲げています</b> 。また、持続可能な開発の3要素には「社会的包摂」「環境保護」「経済開発」の調和が求められているほか、目標17として「パートナーシップで目標を達成しよう」が掲げられおり、多様な人々が力を合わせて持続可能な社会を作っていくことは、世界が共通して取り組むべき方向性となっています。」
17	新潟市の強み	新潟市においても生物多様性の危機が迫っていることを記述してはどうか。	当該箇所は、新潟市が都市と豊かな自然環境を併せ持っていることの強みについて記載しています。新潟市の生物多様性に関する現状や課題については、ご意見を踏まえ、右のとおり追記します。	P194 政策16 環境 新潟市の現状/将来を見据えた課題 「生物多様性への影響」 ○外来生物は人間の意図を超えて生息・生育域を拡大し、在来種の生息・生育環境を脅かしています。」
18	新潟市の強み	「国内外と結ばれた高い拠点性」は、地理的優位性と現状との間に乖離があることから、その点を踏まえた記載に修正してはどうか。	「3 新潟市の強み ②国内外と結ばれた高い拠点性」は、新潟市が有している広域交通基盤などの拠点性の高さについて、強みとして記載しています。ご意見のとおり、新潟空港における国際線など一部の機能については現在、一時的に休止していますが、長期的な展望のもと、拠点機能の一つとして記載しました。  なお、感染症の拡大による航空路等への影響に関する現状や課題については、政策10「新潟市の現状/将来を見据えた課題」において右のとおり記載しています。	P160 政策10 観光・交流 新潟市の現状/将来を見据えた課題 「感染症拡大による影響」 ○新型コロナウイルス感染症の拡大により、交流人口は大きく落ち込みました。外国人来訪者は激減し、地域経済への波及効果が高いMICEも中止・延期が続きました。 ○航空路に関しては、減便・運休が続き、増加傾向にあった新潟空港の利用者は大幅に落ち込みました。また、クルーズ船に関しても、新潟港への寄港が相次いで中止されました。」

No.	区分	意見	意見に対する市の考え方	対応する文章
19	新潟市の強み	今後の状況を見据え「生態系の保全」を「生物多様性の保全」に修正してはどうか。	ご意見を踏まえ、右のとおり修正します。	P55 3 新潟市の強み(1)新潟市の強み ③全国トップクラスの農業力 「田園部は、農地の持つ防災・減災機能や <b>生物多様性</b> の保全、優れた農村景観の形成などの多面的機能を発揮しています。市域の25%が海拔ゼロメートル地帯の低平地となっている中、大規模な農業用排水機場が24時間365日稼働することで、農地の保全のみならず、市民生活や都市機能の維持に大きく貢献しています。」
20	新潟市の強み	新潟市の食と農の強みを活かした特色を、より多面的に情報発信していく必要があるのではないかと。	「3新潟市の強み ④世界に誇る豊かな食」は、新潟市が有している食と農の豊かさについて、強みとして記載していますが、新潟の農水産物と食文化を全国に発信していく取組については、政策9「施策2 農林水産業を活かしたまちづくり」において右のとおり記載しています。	P156 政策9 農業 施策2 農林水産業を活かしたまちづくり ③新潟の農水産物と食文化を全国に発信 ○新潟市の強みである食と花、食文化の魅力を発信し、多くの人がその魅力に触れられる機会を提供することにより、食と花の販路の拡大および都市と農村の交流を推進し、農林水産業の振興と豊かな市民生活の実現を図ります。
21	政策施策の全体像	成果指標の設定に際しSDGsの関連を意識することだが、SDGsの指標に矛盾する部分もあると考えられるので、あまり偏らないほうが良いのではないかと。	国のSDGs実施指針改定版において、地方自治体に対して「SDGsの取組を的確に測定すること」や「ローカル指標の設定等を行うこと」が期待されています。  そのため、次期総合計画の成果指標の設定にあたっては、SDGsの各ゴールとの関連性を意識しながら設定することで、総合計画の進捗を測るとともに、上記「ローカル指標」として本市のSDGsの進捗を測るものとしても機能するようにします。  なお、ご意見のとおり、指標同士の間隔をみると両立が難しいものもあることから、政策・施策を推進する際には、他分野へのトレードオフ(代償)をできるだけ小さくすることを意識するよう、各分野共通の視点として右のとおり記載しています。	P68 4 政策・施策の全体像(1)④政策・施策を推進する5つの視点 視点1 経済・社会・環境の三側面に配慮する 「各分野において脱炭素化の推進を意識するなど、経済・社会・環境の三側面への影響に配慮して、他分野へのトレードオフ(代償)をできるだけ小さくしつつ、また、他分野とのシナジー(相乗効果)を生み出すことを念頭に置きながら施策を推進します。」
22	重点戦略2 政策8 産業・雇用	総合指標に市民世帯当たりの平均所得を入れてはどうか。	ご意見のとおり、主に経済面における豊かさを測るうえで、市民所得は重要であると考えています。  総合指標は素案のとおりとしますが、市民所得の向上は「社会動態」や「合計特殊出生率」など総合指標の目標達成に寄与すると考えられることから、重点戦略2及び政策8の政策指標として「一人当たり市民所得(市民経済計算による一人当たり市民所得)」を設定しています。	P78 5 重点戦略(2)重点戦略2 地域企業の経営力強化、新たなビジネスや成長産業の創出・育成  P151 6 各分野の政策・施策(2)分野5 政策8 地域経済に活力を生み出す産業の振興と雇用の創出  政策指標 「一人当たり市民所得(市民経済計算による一人当たり市民所得)」
23	政策・施策の全体像	総合指標の④「将来世代のことも大切に持続可能なまちづくりが進んでいると思う市民の割合」は、「将来世代に引き継ぐ目線で見た新潟市の評価」という趣旨より、「新潟市を将来世代に引き継いでいけると思う市民の割合」としてはどうか。	次期総合計画では、SDGsを推進することに加えて、人口減少社会に適切していくことが重要であると考えており、そのような持続可能なまちづくりを進めるうえでは、選択と集中による市債残高の縮減や、公共施設の再編など、現在世代と将来世代の利害がぶつかるテーマについても対応していく必要があります。  現在世代が住み続けられるだけでなく、将来世代も住み続けられる新潟市を築くためには、私たち現在世代が将来世代の観点に立って考えることが欠かせないことから、将来世代の立場に立って考えたときに新潟市は「持続可能なまちづくりが進んでいる」と思うかどうかを指標とすることにしました。  なお、ご意見のとおり、自分以外の他者(将来世代)を意識しながら回答しなければならないという点において他の指標と比べて難しい設問になっていることから、アンケートにおいては、回答者がわかりやすいよう設問の意図を補足する説明文を加えるなど配慮しました。 あわせて、否定的な回答をした方に対しては、そのように回答した理由について尋ねる追加設問を設定しました。	-

No.	区分	意見	意見に対する市の考え方	対応する文章
24	政策・施策の全体像	「活力あるまちづくり」「持続可能なまちづくり」の実現に向けて、「経済」「社会」「環境」の三側面の豊かさを調和し高めるとともに、その三側面の基盤となる「ひと=市民」に視点を当てた重点戦略を「見える化」できると、新潟市としてのオリジナリティがでるのではないかと。	<p>ご意見のとおり、目指す都市像を実現するためには、市民及び多様な主体の連携・協働が欠かせません。特に本市は高等教育機関の集積により学生をはじめとする若者が多くいることから、そのような方々の力を活かすことは重要だと考えています。</p> <p>そのため、新潟市の将来を担う世代を大切にするとともに、新潟への誇りと愛着を育むことで、人材が育ち、集まり、活躍する環境をつくる。そして、そのような方々をはじめとする多様な主体と連携・協働してパートナーシップにより目標を達成する。各分野においてそのような好循環が生まれるよう、「政策・施策を推進する5つの視点」として右のとおり記載しています。</p> <p>上記の視点のもと、重点戦略においても市民の活躍や連携・協働を意識しており、重点戦略の位置付けの中で右のとおり記載しています。また、重点戦略のモデル図の中でも、市民の活躍がさらなる活力を創出するという好循環について記載しています。</p> <p>なお、重点戦略において、上記の「政策・施策を推進する5つの視点」を意識していることがわかるよう、右のとおり追記します。</p>	<p>P68 4 政策・施策の全体像(1)④政策・施策を推進する5つの視点 視点2 新潟の将来を担う世代の思いを大切に 「現在世代だけでなく、将来世代まで心豊かに暮らし続けられるまちを築くため、子どもや若者など新潟の将来を担う世代を大切にするとともに、これから生まれてくる子どもたちにも思いを巡らせながら、施策を推進します。」</p> <p>視点3 新潟への誇りと愛着を育む 「地方分散型の社会への移行を見据えて、新潟の将来を担う人材が育ち、集まり、活躍する環境をつくるため、新潟の歴史や特色を踏まえた施策を推進し、新潟への誇りと愛着を醸成します。」</p> <p>視点4 パートナーシップにより目標を達成する 「市民、民間事業者、国・県・他市町村など多様な主体と連携・協働できる関係性を構築し、パートナーシップにより目標を達成します。」</p> <p>P71-P72 5 重点戦略(1)重点戦略について 「市民一人一人が自分らしく様々な場面で活躍し、また、人と人、地域と地域とが共につながることで、新潟市にさらなる活力を生み出します。」 「そこで、<b>「4 政策・施策の全体像」に掲載した「政策・施策を推進する5つの視点」に基づき、市民をはじめ多様な主体が</b>協働しながら総力をあげて展開する10の戦略を「重点戦略」と位置付け、ひとつの政策パッケージとして推進していきます。」</p>
25	政策・施策の全体像	新潟市のポテンシャルの高さを市民や多様な主体との間で共有し、誇りや愛着に昇華させていくプロセスが見えるようにしてはどうか。	<p>次期総合計画には新たに新潟市のポテンシャルの高さを示す「新潟市の強み」と、計画に基づき政策・施策を進めていく際に重視する「政策・施策を推進する5つの視点」の記載を設け、5つの視点の1つとして新潟への誇りと愛着を育むことを掲載しています。</p> <p>計画の推進をとおり、新潟市の強みを多様な主体と共有し、誇りや愛着につなげ、パートナーシップによるまちづくりを総合的に進めていくこととしますが、ご意見をふまえ、こうした姿勢がより明確になるよう、今後の修正の中で引き続き検討します。</p>	-
26	重点戦略	前半部分に記載されている、将来想定される変化・課題、新潟市の強み、政策・施策を推進する5つの視点などの要素が、後半部分の政策・施策等に必ずしも反映されていないように見えるため、それらを意識していることがわかるような記載にしてはどうか。	<p>「5重点戦略」や「6各分野の政策・施策」は、基本構想や「2新潟市を取り巻く状況」、「3新潟市の強み」、「4政策・施策の全体像(1)④政策・施策を推進する5つの視点」などをふまえて記載しています。</p> <p>ご意見をふまえ、戦略や施策の方向性を導き出すにあたっての背景や考え方などについて、よりわかりやすくお示しできるよう、今後の修正の中で引き続き検討します。</p>	-
27	重点戦略	各分野の政策・施策は相互に関連していることから、包括的に展開していくことがわかるような記載にしてはどうか。	<p>ご意見のとおり、各分野の政策・施策は相互に関連しており、一つの課題を解決するためには様々な要素を考慮しながら、政策・施策を展開していかなくてはならないことから、「政策・施策を推進する5つの視点」に市役所全体で課題を共有し、組織横断で施策を推進することを盛り込むとともに、「6各分野の政策・施策」に「関連する施策」の記載を設け、関連する施策名称及びページ数を記載しています。</p> <p>ご意見をふまえ、本市の重要課題に対応し、目指す都市像を実現していくため、分野にとらわれず関連する様々な政策・施策を一体的に推進していく姿勢がより明確になるよう、今後の修正の中で引き続き検討します。</p>	-
28	重点戦略	説明を聞いて初めてその意図がわかることが多いため、どのような背景や考え方に基づいてその文章が書かれているかがわかるよう、ストーリー性を意識した記載にしてはどうか。	<p>分かりにくい用語や表現については、参考資料として用語解説集を作成し説明を行っていましたが、ご意見をふまえ、用語の記載されているページの下部に解説を記載するなど、充実を図るとともに、戦略や施策の方向性を導き出すにあたっての背景や考え方などについて、よりわかりやすくお示しできるよう、今後の修正の中で引き続き検討します。</p>	-

No.	区分	意見	意見に対する市の考え方	対応する文章
29	重点戦略	総合計画全体として、若者がこのまちに残りたいと思えるよう、若者にとって魅力的なまちになるというメッセージを打ち出せると、他の施策も生きてくると思われる。意識的にキーワードを盛り込むなど、子どもや若者に向けた施策をよりわかりやすく見せてはどうか。	ご意見のとおり、子どもや若者を大切にしながら施策を推進することは、特定の分野だけでなく、全ての分野において重視すべきと考えており、「政策・施策を推進する5つの視点」の視点2において、新潟の将来を担う世代の思いを大切にすることを右のとおり記載しています。 また、重点戦略1「都市機能の充実と拠点性の向上」において、若者世代から、夢や希望を実現できる都市として選ばれるよう、様々な戦略を総合的に展開していくことの重要性について、右のとおり記載しています。 なお、今後作成を予定する総合計画の「概要版」については、多くの市民の目に触れられることを想定し、より簡潔で分かりやすいものになるよう検討していきますが、中でも上記のような考えについてもより伝わりやすくなるよう表現等について工夫していきます。	P68 政策・施策を推進する5つの視点 視点2 新潟の将来を担う世代の思いを大切に 「現在世代だけでなく、将来世代まで心豊かに暮らし続けられるまちを築くため、子どもや若者など新潟の将来を担う世代を大切にするとともに、これから生まれてくる子どもたちにも思いを巡らせながら、施策を推進します。」 P73 重点戦略1 戦略展開の方向 「新潟市が人口減少時代に躍進するためには、「学べる」、「自分らしく働ける」、「遊べる」、「楽しめる」、「刺激がある」といった人々を惹きつける都市の魅力を高め、現在世代のみならず将来を担う世代から夢や希望を実現できる都市として選ばれるよう、様々な戦略を総合的に展開していくことが重要です。」
30	重点戦略	「具体的な施策」について、他の言葉と混同しないように表現方法を工夫してはどうか。	ご意見を踏まえるとともに、P103-104の「各分野の政策・施策の見方」との整合性を取り、右のとおり修正します。	P73-P96 ・戦略展開の方向の下にある標記を「具体的な内容」に変更
31	重点戦略	「重点戦略の位置づけ」に記載の「産官学金労言士」という記載について、市民が含まれていることがわかるような表現にしてはどうか。	ご意見を踏まえ、右のとおり修正します。	P71 重点戦略 (1)重点戦略について 「そこで、多様な主体と連携・協働しながら総力をあげて展開する10の戦略を「重点戦略」と位置付け、ひとつの政策パッケージとして推進していきます。」
32	重点戦略1	重点戦略1について、「学べる」「自分らしく働ける」「遊べる」などといった観点に加え、安心して暮らせるという視点も記載してはどうか。	ご意見を踏まえ、修正箇所を調整のうえ、文言の修正を検討してまいります。	-
33	重点戦略1	新潟駅から新潟空港までのアクセスについて、利便性向上などの対策・検討について記載すべきではないか。	新潟駅から新潟空港までのより利便性の高いアクセスに関するご意見を踏まえ、右のとおり修正します。	P184 政策14 まちづくり 施策3 広域的な拠点機能の強化 ①拠点機能の充実・強化 ○新潟空港の耐災害性を強化するとともに、空港運営の最適化、 <b>駅や港などのより利便性の高い空港アクセスの検討</b> 、航空ネットワークの充実・強化により活性化を図ります。
34	重点戦略6	政策目標として「共生社会」の実現を上位目標とするのか、「地域共生社会」の実現を上位目標とするのか整理してはどうか。	「共生社会」は性別や年齢、障がいなど、人それぞれの違いを自然に受け入れ、互いに認め合う社会のことです。 一方、「地域共生社会」は、制度・分野ごとの「縦割り」や「支え手・受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えてつながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会のことです。 計画中では、どちらが「上位・下位」ということではなく、それぞれの考え方にに基づき使用しています。 しかしながら、「共生社会」という言葉は、「障がいのある人もない人も共生する」という文脈で使われることが多く、読み手によっては「障がいへの理解」に特化したイメージを持つ可能性があります。 重点戦略6においては、障がいだけでなく、性別や年齢のほか、少数派とされる方々も含め、誰もが個性と能力を発揮しながら心豊かに暮らせる社会を実現するための施策を示すものであることから、右のとおり表現を修正します。	P85 重点戦略6「誰もが個性と能力を発揮しながら、心豊かに暮らせる <b>社会</b> の実現」 戦略展開の方向 「市民の笑顔があふれ、ふれあいと活力のある地域で、誰もが自分らしく個性と能力を発揮しながら、心豊かに暮らせる <b>社会</b> を実現していきます。」
35	重点戦略6	具体的な施策に記載する分野、施策の記載順について、構成を検討してはどうか。	ご意見を踏まえ、戦略展開の方向及び具体的な施策について、「市民活躍」に関する内容を最初に記載するなど、全体的に構成を整理いたします。	-

No.	区分	意見	意見に対する市の考え方	対応する文章
36	重点戦略6	地域活動の担い手育成・確保に関する内容を追加してはどうか。	ご意見を踏まえ、右のとおり修正します。	P85-P87 重点戦略6 誰もが個性と能力を発揮しながら、心豊かに暮らせる共生社会の実現 <b>活動の担い手育成・確保</b> 「様々な分野の市民公益活動の支援などを通じ、地域で活躍できる人材の育成・確保を推進します。」 「小・中学校をはじめとする各種学校による地域活動参加を促進し、子どもや若者世代の地域への関心と愛着を深め、将来の担い手育成につなげます。」 「担い手不足に悩む団体と、それを支援できる人材や民間事業者、各種学校などのマッチングを行います。」
37	重点戦略6	生活習慣病への対応だけでは健康寿命は延ばしにくいと思われるため、他の要素についても触れるなど表現を工夫してはどうか。	政策6の「新潟市の現状/将来を見据えた課題」に記載のとおり、本市は全国と比べて脳血管疾患で亡くなる人の割合が高く、中でも脳梗塞が原因となっている割合が高いことから、その原因となる生活習慣病の予防と早期発見が重要と考えています。 こうした本市の傾向を踏まえ、生活習慣病への対応は本市の重要課題と捉えています。ご意見のとおり、健康寿命の延伸は生活習慣病への対応のみではなく、フレイルや認知症の予防、歯と口やこころの健康といった一人一人の健康づくりが基本となることから、右のとおり表現を修正します。	P85 重点戦略6 戦略展開の方向 「いつまでも元気でいきいきと暮らせるよう、 <b>生活習慣病の予防をはじめ、市民一人一人の健康づくりを推進し、健康寿命の延伸を促進します。</b> 」  P137 政策6 健康・保健 基本的方向 「 <b>生活習慣病の予防をはじめ、市民一人一人の健康づくりを推進し、健康寿命の延伸を促進します。</b> 」
38	重点戦略6	戦略展開の方向や具体的な施策の内容と政策指標の整合性を図ってはどうか。	重点戦略6の内容は高齢者に限ったものではありませんが、社会全体で少子・高齢化が進み、また、誰もが年を重ねていくなかで、高齢になっても住み慣れた地域で安心して暮らせることはとりわけ重要であると考えていることから、「住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるとする高齢者の割合」を掲げることとしました。  なお、高齢者だけでなく、性別、障がいの有無、国籍の違いや、少数派とされる方々を含めた人権を尊重することについても重要であると考えていることから、政策1「誰もが個性と能力を発揮し活躍できるまちづくりの推進」において、右の政策指標を掲げています。	P113 政策1 政策指標 「社会全体における男女の地位が平等であると思う市民の割合」 「障がいや理由として差別・暮らしにくさを感じたり、いやな思いをしたことがない障がいの割合」 「新潟市は暮らしやすいまちだと思う外国籍市民の割合」 「自分や、周りの人の人権を意識しながら、生活している市民の割合」
39	重点戦略6	いろいろな形の家庭を認めたり尊重することが計画の中でわかるようにしてはどうか。	政策7では、少数派とされる方々も含め、全ての方が心豊かに自分らしくいきいきと安心して暮らせる地域共生社会の実現に向けた内容としています。 なお、政策1「誰もが個性と能力を発揮し、活躍できるまちづくりの推進」において、「男女共同参画」や「障がいのある人への理解」、「多文化共生のまちづくり」といった取り組みを記載しています。 重点戦略6および政策7について、ご意見を踏まえて右のとおり修正します。	P85, P141 重点戦略6 戦略展開の方向 および 政策7 福祉 基本的方向 「 <b>価値観や生活様式が多様化し、様々な背景をもった方々が同じ地域で暮らす中、</b> 地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と人、人と社会が世代や分野を超えてつながり、一人一人の暮らしと生きがい、地域を共に創り、誰もが役割をもって活躍できる「地域共生社会」の実現が求められています。」
40	重点戦略6	「子どもから高齢者まで…」という言葉は、子どもと高齢者に意識が向き20代から50代くらいまでの当事者感覚が薄くなってしまうことがあるため、「誰もが」を加えるなど表現を工夫してはどうか。	ご意見を踏まえ、右のとおり修正します。	P121 政策3 スポーツ 施策1 生涯スポーツ社会の実現 ①誰もが参加できるスポーツの機会創出 ○子どもから高齢者、障がい者まで、 <b>誰もが</b> 生涯にわたって、スポーツ・レクリエーションを通じて、健康で豊かな生活を営むことができる取組を推進します。
41	重点戦略7	教職員の働き方の改善や教育の質の向上という要素を盛り込んではどうか。	教職員の働き方の改善や教育の質の向上については、重要課題の1つとして認識していますので、委員のご意見も含めて教職員の働き方改革の要素について、重点戦略7に右のとおり追加します。	P90 重点戦略7 具体的な内容 <b>将来にわたって望ましい教育環境の提供</b> ○教職員が生き生きと子どもたちと向き合うため、学校と保護者・地域が一体となった働き方改革を推進することにより、働きやすい職場づくりを目指すとともに、心身の健康の保持増進へのきめ細かな支援を充実させます。さらには、子どもの学びをしっかりと把握していくための学習環境の改善を図ります。

No.	区分	意見	意見に対する市の考え方	対応する文章
42	重点戦略8	仕事や子育て環境に係る新潟市の強みを、戦略展開の方向に加えてはどうか。	ご意見を踏まえ、戦略展開の方向に新潟市の子育て環境の強みを加えます。	P91 重点戦略8 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の実現 戦略展開の方向 「一方、新潟市は待機児童数ゼロを維持するなど充実した保育環境を有していますが、夫婦の理想とする子どもの数と現実の子どもの数には差があります。その理由として、教育にかかる経済的な負担の大きさのほか、仕事と子育ての両立の困難さが挙げられています。」
43	重点戦略9	戦略展開の方向の中で、気候変動への対策について記載してはどうか。	ご意見を踏まえ、右記のように修正します。	P92 重点戦略9 脱炭素・循環型社会の実現 戦略展開の方向 「温暖化による気候変動の影響を可能な限り抑えるため、令和32(2050)年までにCO <sub>2</sub> 排出量実質ゼロを目標とするカーボンニュートラルを掲げる動きが世界に広がる中、新潟市は令和2(2020)年12月に「ゼロカーボンシティ」の実現を目指すことを宣言しました。」
44	重点戦略9	「脱炭素・循環型社会の実現」を「脱炭素・生物多様性保全・循環型社会の実現」としてはどうか。また、具体的な施策に「生物多様性の保全の推進」を新たに入れてはどうか。	生物多様性と地球温暖化との関係性について、具体的な施策「気候変動適応策の推進」の中で、右のように文言を加えます。	P195 施策1 脱炭素社会の創造 ③気候変動適応策の推進 ○気候変動による様々なリスクに対応するため、生物多様性の損失、農作物などに及ぼす影響や自然災害被害、および健康被害などを回避・軽減する取組を、国や県、事業者などと連携しながら推進します。
45	政策1 市民活躍	新潟市は先行してパートナーシップ宣誓制度を導入しており、そういう方々も胸を張って活動しているというのは良いことだと思われることから、総合計画の中に「LGBTQ」への理解について、盛り込んではどうか。	ご意見を踏まえ、「LGBTQ」への理解が深まるよう、市民への教育や啓発の推進について右記のとおり修正します。	P112 施策5 人権を尊重する社会の推進 ①市民への人権教育・啓発の推進 ○性別、年齢、障がいの有無、国籍、出身、性的指向、性自認、価値観などにかかわらず、お互いを尊重する人権意識を養うことが重要なため、関係機関や団体と連携・協働し、地域や学校、生涯学習など様々な場や機会において、人権教育や啓発を推進します。
46	政策1 市民活躍	市の方向性を示す意味でも、市がジェンダーの問題を常に考えながら様々な政策に取り組んでいくということが分かるような記載にしてはどうか。	ご意見を踏まえ、基本構想の「まちづくりの理念」に、右のとおり修正します。	P6 2 まちづくりの理念 これからのまちづくり 「そのためには、持続可能な経済成長や、ジェンダー平等の実現、気候変動の対策など、SDGsで掲げられている目標や考え方を意識しながら、「経済」、「社会」、「環境」の三側面の調和を図りつつ、それぞれの側面の豊かさを高めることが重要です。」
47	政策1 市民活躍	男女共同参画に関する部分について、現計画から改善された点も記載したうえで、その一方、依然として足りない部分があるという作りにはどうか。	ご意見を踏まえ、右のとおり修正します。	P108 新潟市の現状/将来を見据えた課題 「女性の活躍と男女の多様な生き方・働き方」 ○民間事業者や地域など、あらゆる分野における政策・方針決定の場への女性の参画はまだ進んでいません。男性の育児休業取得率は上昇しているものの、家庭責任の多くを女性が担っている実態により、働く場において、その個性と能力を十分に発揮することが困難な状況にあります。

No.	区分	意見	意見に対する市の考え方	対応する文章
48	政策1 市民活躍	新潟市の現状/将来を見据えた課題の「人権に対する関心」及び「施策5 人権を尊重する社会の推進」について、人権教育や啓発の実施に対し、積極的な姿勢が伝わるような表現に変更してはどうか。	ご意見を踏まえ、右記のとおり積極性を表す表現を修正します。	P108 新潟市の現状/将来を見据えた課題 「人権に関する関心」 ○近年、様々な分野における人権課題に関する法整備が進む一方で、依然として、差別や偏見などの人権問題が存在しています。そのため、人権に対する関心を高め、人権に関する理解や認識が深まるよう、人権教育や啓発を積極的に実施していくことが重要です。  P112 施策5 人権を尊重する社会の推進 ①市民への人権教育・啓発の推進 ○性別、年齢、障がいの有無、国籍、出身、性的指向、性自認、価値観などにかかわらず、お互いを尊重する人権意識を養うことが重要なため、関係機関や団体と連携・協働し、地域や学校、生涯学習など様々な場や機会において、人権教育や啓発を推進します。
49	政策1 市民活躍	「施策1 地域団体・市民団体の活動の推進」①地域団体・市民団体の活動支援 中の「地域課題の解決に向けた活動」という記載について、課題解決に限定した記載にせず、地域の魅力向上なども含む表現に拡大してはどうか。	ご意見を踏まえ、右のとおり修正します。	P109 施策1 地域団体・市民団体の活動の推進 ①地域団体・市民団体の活動支援 ○自治会・町内会や地域コミュニティ協議会だけでなく、活動範囲を問わず公益活動を行うNPOなども含めた各種市民団体に対し、課題解決や地域の魅力向上などに向けた活動を支援します。
50	政策1 市民活躍	施策1②持続可能なコミュニティづくり について、活動を軽くしていくといった方向に読み取れてしまうので、表現を変更してはどうか。	ご意見を踏まえ、右のとおり修正します。	P109 施策1 地域団体・市民団体の活動の推進 ②持続可能なコミュニティづくり ○活動の継続性など運営面に課題のある地域団体が、活動内容の検討や運営体制の整備など、地域経営力強化に向け自ら行う取組を支援します。
51	政策1 市民活躍	施策1②について、この部分に「地域経営」という言葉を表記してはどうか。	ご意見を踏まえ、右のとおり記載しました。	P109 施策1 地域団体・市民団体の活動の推進 ②持続可能なコミュニティづくり ○活動の継続性など運営面に課題のある地域団体が、活動内容の検討や運営体制の整備など、地域経営力強化に向け自ら行う取組を支援します。
52	政策1 市民活躍	施策1③活動の担い手育成・確保 について、男女共同参画の視点を入れてはどうか。	地域活動における男女共同参画の視点については、右記のとおり施策2の「地域」という部分に含め、修正します。 また、基本構想の「まちづくりの理念」に右のとおり記載し、全体的な視点として入れながら、様々な政策に取り組んでいきたいと考えています。	P110 施策2 男女共同参画の推進 ②女性の参画拡大と男女とも仕事と家庭生活が両立できる環境整備 ○地域、働く場など、あらゆる場面において、意思決定過程への女性の参画拡大を促進します。  P6 2 まちづくりの理念 これからのまちづくり 「そのためには、持続可能な経済成長や、ジェンダー平等の実現、気候変動の対策など、SDGsで掲げられている目標や考え方を意識しながら、「経済」、「社会」、「環境」の三側面の調和を図りつつ、それぞれの側面の豊かさを高めることが重要です。」
53	政策1 市民活躍	「施策2 男女共同参画の推進」③DVの根絶とDV被害者への支援体制づくり について、DVの予防・防止及び加害者の更生に関する内容を加えてはどうか。	ご意見を踏まえ、右のとおり修正します。	P110 施策2 男女共同参画の推進 ③DVの根絶とDV被害者への支援体制づくり ○DVの未然防止や加害者への対応など、DVを容認しない社会づくりを推進します。また、関係機関や支援団体との連携を強化し、DV被害者の人権を尊重した適切な相談・保護・自立支援を切れ目なく総合的に実施します。
54	政策1 市民活躍	「施策5 人権を尊重する社会の推進」について、性自認に関する記載を加えてはどうか。	ご意見を踏まえ、「性自認」について、右のとおり修正します。	P112 施策5 人権を尊重する社会の推進 ①市民への人権教育・啓発の推進 ○性別、年齢、障がいの有無、国籍、出身、性的指向、性自認、価値観などにかかわらず、お互いを尊重する人権意識を養うことが重要なため、関係機関や団体と連携・協働し、地域や学校、生涯学習など様々な場や機会において、人権教育や啓発を推進します。

No.	区分	意見	意見に対する市の考え方	対応する文章
55	政策1 市民活躍	「政策指標 A.地域活動に参加した経験のある市民の割合」について、市民活動も含まれるような表現にしてはどうか。	指標名としては「地域活動に参加した経験のある市民の割合」としましたが、実際のアンケートでは、地域団体だけでなくその他の自主的な活動団体や企業などによる活動も含めた聞き方としているため、指標の名称は素案のとおりとします。	P113 政策指標 A.地域活動に参加した経験のある市民の割合
56	政策2 文化	「施策3 文化財等の保存・継承」①文化財等の保存・継承 について、ここに教育という目線を入れてはどうか。	学校教育だけではなく、博物館や生涯学習など多様な場面での教育を想定していることから、右のとおり修正します。	P117 施策3 文化財等の保存・継承 ①文化財等の保存・継承 ○新潟市の歴史・文化の特性を物語る文化財、民俗芸能など、地域に根差した文化を、多様な主体との連携により調査・研究、 <u>価値を認識する機会を創出するとともに</u> 、担い手育成の支援などを通して、保存・継承を行います。
57	政策2 文化	「施策4 文化芸術の価値の多面的展開」②文化芸術を社会課題の解決に活用 の、「社会課題の解決」について、具体的かつ前向きなイメージが湧くような表現にしてはどうか。	ご意見を踏まえ、右のとおり修正します。	P118 施策4 文化 <u>芸術特性</u> の多面的展開 ①特色ある文化 <u>芸術で地域振興</u> ○みなとまち文化や踊り文化、マンガ・アニメ文化、鉄道文化など、 <u>人を引きつける特色ある文化をさらに磨き上げ、観光や産業、まちづくりの分野などの振興に役立てます。</u>  ② <u>文化芸術特性を幅広く活用</u> ○国際交流、福祉、教育などの分野と連携・協働し、 <u>相互理解や豊かな表現力が地域で育まれるよう、多様な価値観を包摂する文化特性を幅広く活用していきます。</u>
58	政策3 スポーツ	「施策1 生涯スポーツ社会の実現」②スポーツを支える環境づくりについて、現在、学校での部活動について、指導者の外部委託や地域移行などの話が出てきており、教育分野や地域などとの関連・連携について記載してはどうか。	ご意見を踏まえ、政策5 施策3に右のとおり修正します。	P135 政策5 教育 施策3 地域との連携による開かれた学びの推進 ①地域と学校・社会教育施設の協働 ○地域コミュニティ協議会などの地域団体と連携・協働しながら、学校での <u>総合学習や部活動のほか</u> 地域における課題の解決を促進します。  関連する施策 ●地域団体・市民団体の活動の推進・・・P109 ● <u>文化芸術活動の活性化・・・P117</u> ● <u>生涯スポーツ社会の実現・・・P121</u>
59	政策3 スポーツ	「施策2 競技力の向上、人材育成の推進」①選手・指導者の育成について、今後、地域や生涯スポーツにおける指導者が非常に重要になっていくと考えられるため、その指導者の育成という点について、もう少し加筆してはどうか。	地域のスポーツ指導者は、生涯スポーツ社会を実現するうえで重要な役割を担う存在であり、ご意見を踏まえ、施策1の②を右のとおり修正します。 ご指摘の施策2は、競技力向上やジュニア育成に主眼を置いた施策であることから、素案のとおりとします。	P121 施策1 生涯スポーツ社会の実現 ②スポーツを支える環境づくり ○スポーツと地域の関わり、スポーツの多様化や少子化による影響など <u>に対応しながら、関係者と共にスポーツ環境の充実や指導者の育成など</u> 、ハード・ソフト両面から市民のスポーツ活動を支えます。
60	政策3 スポーツ	「施策3 スポーツを活かしたまちづくり」①スポーツによる活性化、②スポーツの力をまちづくりに活用 について、それぞれ具体的なイメージが湧くような表現にしてはどうか。	ご意見を踏まえ、右のとおり修正します。	P122 施策3 スポーツを活かしたまちづくり ① <u>スポーツを通じた交流の推進</u> ○新潟市の持つ魅力を活かした、国際・全国大会や合宿の誘致、イベントなどの開催によりスポーツを通じた <u>交流を推進し、地域や経済の活性化につなげます。</u>  ② <u>スポーツの魅力を活かした愛着の醸成と賑わいづくり</u> ○地元プロスポーツチームをはじめ、スポーツ団体などとの連携により、 <u>観戦や社会貢献活動などを通じスポーツに親しみ本市への愛着を深めてもらうとともに、スポーツを楽しむ賑わいづくりに寄与していきます。</u>

No.	区分	意見	意見に対する市の考え方	対応する文章
61	政策3 スポーツ	施策3②について、年齢や居住地などに関わらず市民の誰もが、日常的にスポーツを楽しむような環境づくりについて、もう少し盛り込んでどうか。	スポーツを楽しむ環境づくりについては、右のとおり施策1の②に修正します。 施策3については、ご意見を踏まえ、右のとおり記載しました。また、現在、総合計画の下位計画となる「新潟市スポーツ推進計画」の改定作業を進めているところであり、その計画や実施計画の中で、ご意見を反映していきたいと考えています。	P121 施策1 生涯スポーツ社会の実現 ②スポーツを支える環境づくり ○スポーツと地域の関わり、スポーツの多様化や少子化による影響などに対応しながら、関係者と共にスポーツ環境の充実や指導者の育成など、ハード・ソフト両面から市民のスポーツ活動を支えます。 P122 施策3 スポーツを活かしたまちづくり ①スポーツを通じた交流の推進 ○新潟市の持つ魅力を活かした、国際・全国大会や合宿の誘致、イベントなどの開催によりスポーツを通じた交流を推進し、地域や経済の活性化につなげます。 ②スポーツの魅力を活かした愛着の醸成と賑わいづくり ○地元プロスポーツチームをはじめ、スポーツ団体などとの連携により、観戦や社会貢献活動などを通じスポーツに親しみ本市への愛着を深めてもらうとともに、スポーツを楽しむ賑わいづくりに寄与していきます。
62	政策4 子育て	施策1「出会いから結婚・妊娠・出産・子育てにかけての切れ目ない支援」について、妊娠や出産には適齢期があることを、中学校や小学校高学年といった早い時期から教育することを盛り込んでどうか。	ご意見を踏まえ、小学校・中学校・高校からのライフデザイン教育の実施を念頭に、施策1②を右のとおり修正します。	P127 施策1 出会いから結婚・妊娠・出産・子育てにかけての切れ目ない支援 ②出会い・結婚に対する支援 ○若者が早い時期から将来の結婚や子育てのイメージを持ち、妊娠・出産の適齢期を見据えたライフデザインを考えられる機会を創出します。
63	政策4 子育て	施策1について、出会い・結婚と妊娠・出産が一緒に書かれていることでプレッシャーを感じる人もいられると思われるため、これらを一つの施策にまとめるのが適切かどうかあらためて検討してはどうか。	結婚から妊娠、出産、子育てにかけての切れ目のない支援を重視していることからこのような表現としており、新潟市だけでなく国においても同様の表現を用いています。 一方で、望まない人への配慮も必要であることを踏まえ、基本的方向及び施策1②を右のとおり修正します。	P125 基本的方向 「子どもと子育てにやさしいまちを目指し、ライフステージに応じた切れ目のない支援により、希望する人が安心して結婚し、子どもを生み育てることができる新潟市をつくれます。」 P127 施策1 出会いから結婚・妊娠・出産・子育てにかけての切れ目ない支援 ②出会い・結婚に対する支援 ○民間事業者と連携した出会いの場の創出や、地域を挙げて結婚を応援する機運の醸成を図るなど、結婚を望む人の希望をかなえられる環境づくりを推進します。
64	政策4 子育て	施策1 ②妊娠・出産・子育て期の包括的な支援について、母親の負担を和らげるためにも、妊産婦の支援だけでなく父親あるいはパートナーへの支援ないし教育を盛り込んでどうか。	施策3①において、男性の家事や育児への参画に向けた取組を推進することを記載します。 また、施策1③における支援の対象について、母親だけでなく父親等まで広く含めて「保護者」と記載します。	P127 施策1 出会いから結婚・妊娠・出産・子育てにかけての切れ目ない支援 ③妊娠・出産・子育て期の包括的な支援 ○妊娠・出産期の幸福感を高め、希望する子どもの数を実現できるよう、産前・産後のケアを強化し、保護者同士や専門機関などとのつながりを促進することで、孤独の解消と子育てに関する正しい理解が深まるよう支援します。 P129 施策3 社会全体での子育て支援 ①社会全体で子育てを応援する機運の醸成 ○仕事と子育ての両立のため、企業等への啓発や支援を進めるほか、男性の家事や育児への参画など、経済や市民生活など他の分野とも連携した取組を推進します。

No.	区分	意見	意見に対する市の考え方	対応する文章
65	政策4 子育て	親同士や専門職とのつながりをつくるため、子どもの権利を知るため、教育・保育施設等と保護者との良好な関係をつくるためにも、親として育ち、学ぶことができる機会を確保することを盛り込んではどうか。	ご意見を踏まえ、施策1③について、保護者が子育てに関し正しい理解を得られるよう支援する旨を追記・修正します。 また、親として育ち、学ぶことができる機会の確保に関して、学習機会や相談体制の充実に取り組むことについて、政策5の施策2①で右のとおり記載しています。	P127 施策1 出会いから結婚・妊娠・出産・子育てにかけての切れ目ない支援 ③妊娠・出産・子育て期の包括的な支援 ○全ての妊産婦が安心して子どもを産み育てられるよう、新潟市の特色を活かし、 <b>妊娠・子育てほっとステーションを中心に</b> 、地域の中で一人一人に寄り添った相談体制の構築を進めるほか、SNSやアプリの活用等、デジタル技術を活用し、 <b>必要な人に的確に届くよう</b> 効果的で、分かりやすい子育て情報の発信を行います。 ○ <b>妊娠・出産期の幸福感を高め、希望する子どもの数を実現できるよう、産前・産後のケアを強化し、保護者同士や専門機関などとのつながりを促進することで、孤独の解消と子育てに関する正しい理解が深まるよう支援します。</b>  P134 政策5 教育 施策2 創造力と人間力あふれる市民が学び育つ生涯学習の推進 ①家庭教育の充実と子育て支援 ○家庭での教育力の向上に向け、学校と家庭および地域と家庭の連携を推進するとともに、不安や疑問などに対応する学習機会や相談体制の充実に取り組みます。
66	政策4 子育て	1人目のところの産後のケアを丁寧にしていくことが2人目、3人目につながると考えられることから、産後ケアの充実など産前産後の支援を手厚くすることを盛り込んではどうか。	1人目の産前・産後に適切な支援を受けた経験が、2人目以降の出産に影響を与えたとのご意見を踏まえ、施策1③に産前産後のケアの強化などに関する文言を追記します。	P127 施策1 出会いから結婚・妊娠・出産・子育てにかけての切れ目ない支援 ③妊娠・出産・子育て期の包括的な支援 ○全ての妊産婦が安心して子どもを産み育てられるよう、新潟市の特色を活かし、 <b>妊娠・子育てほっとステーションを中心に</b> 、地域の中で一人一人に寄り添った相談体制の構築を進めるほか、SNSやアプリの活用等、デジタル技術を活用し、 <b>必要な人に的確に届くよう</b> 効果的で、分かりやすい子育て情報の発信を行います。 ○ <b>妊娠・出産期の幸福感を高め、希望する子どもの数を実現できるよう、産前・産後のケアを強化し、保護者同士や専門機関などとのつながりを促進することで、孤独の解消と子育てに関する正しい理解が深まるよう支援します。</b>
67	政策4 子育て	新潟市として子育て支援に力を入れていることが市民に伝わるような見せ方をしていくとともに、情報発信にあたっては、必要な人に的確に届くように、より効果的な手法に見直ししていくことにはどうか。	ご意見を踏まえ、本市の施策に係る決意が伝わるよう、基本的方向に文言を追記するとともに、施策1③に情報発信に係る文言を追記します。	P125 基本的方向 <b>子どもと子育てにやさしいまちを目指し</b> 、ライフステージに応じた切れ目のない支援により、希望する人が安心して結婚し、子どもを産み育てることができる新潟市をつくります。  P127 施策1 出会いから結婚・妊娠・出産・子育てにかけての切れ目ない支援 ③妊娠・出産・子育て期の包括的な支援 ○全ての妊産婦が安心して子どもを産み育てられるよう、新潟市の特色を活かし、 <b>妊娠・子育てほっとステーションを中心に</b> 、地域の中で一人一人に寄り添った相談体制の構築を進めるほか、SNSやアプリの活用等、デジタル技術を活用し、 <b>必要な人に的確に届くよう</b> 効果的で、分かりやすい子育て情報の発信を行います。
68	政策4 子育て	子育て支援に係る機関が一体となって取り組むことでより効果があがることから、関係機関の連携を進めていくことを盛り込んではどうか。	ご意見を踏まえ、「施策3 社会全体での子育て支援」として施策を新たに設けて、地域や関係機関が連携し、社会全体で子育てを支援することについて記載します。	P129 <b>施策3 社会全体での子育て支援</b> ② <b>地域と連携した子育て支援</b> ○ <b>医療機関や学校を含め、様々な関係機関や地域人材が有機的に連携しながら、子育てを重層的に支援します。</b>
69	政策4 子育て	子育て・教育の施策を推進するうえでは、担い手の量と質が担保されることが重要であることから、施策の内容に合わせた担い手の確保や研修等を通じた質の向上を進めていくことを盛り込んではどうか。	子育て支援サービスの質を向上させるためには、担い手の確保と質の向上が重要なことから、新たに設けた施策3③に、その旨の文言を追記します。	P129 <b>施策3 社会全体での子育て支援</b> ③ <b>担い手の確保・育成</b> ○ <b>地域全体の多様な子育て支援サービスの質の向上と体制強化を図るため、担い手となる専門人材の確保、職員の研修や処遇改善に加え、ICT技術の活用等による働きやすい職場づくりを目指します。</b>

No.	区分	意見	意見に対する市の考え方	対応する文章
70	政策4 子育て	労働時間の長さなど両親の働き方も子育てのしやすさに影響することから、経済分野と連携・協働しながら取り組みを進めていくことを盛り込んではどうか。	重点戦略8において、仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の実現について記載していますが、ご意見のとおり、仕事と子育ての両立にあたっては保護者の働き方など経済分野などと連携した取組が必要であることから、新たに設けた施策3①にその旨の文言を追記します。	P129 施策3 社会全体での子育て支援 ①社会全体で子育てを応援する機運の醸成 ○仕事と子育ての両立のため、企業等への啓発や支援を進めるほか、男性の家事や育児への参画など、 <b>経済や市民生活など他の分野とも連携した取組を推進</b> します。
71	政策4 子育て	市民の中にも子育てを支援したいと考える方々が大勢いることから、その方々の力を活かせるようコミュニティづくりや情報提供などの支援をすることを盛り込んではどうか。	地域における子育てを支援したいと考える方々の協力のもと、地域が連携して子育て支援を進めていくため、新たに設けた施策3②に右のとおり修正します。 また、情報提供などの支援をすることについて、政策5の施策2①の中で、右のとおり追記します。	P129 施策3 社会全体での子育て支援 ②地域と連携した子育て支援 ○医療機関や学校を含め、様々な関係機関や地域人材が有機的に連携しながら、 <b>子育てを重層的に支援</b> します。 ○多様な家族形態があることを前提に、地域の様々な人や団体が、子どもと子育て家庭への支援に参画できるよう、地域における子どもたちの見守りと <b>情報提供</b> を継続するとともに、ファミリー・サポート・センターによる子育て家庭への支援等を推進します。  P134 施策2 ①家庭教育の充実と子育て支援 ○子育て中の保護者が安心して学習できる機会や、家庭での教育に関する情報を提供するとともに、子育ての悩みなどを共有して <b>支え合える関係づくりを支援する</b> など、学びを生かす取組を促進します。
72	政策4 子育て	子どもは地域や社会にとっての宝物であり、子育てに対して支援することはやがて高齢者にも返ってくる未来への投資であるという意識を持ってもらうことが重要である。さまざまな家庭の形があることを前提としながら、子どもや子育て家庭を地域や社会全体で支えていくことを盛り込んではどうか。	ご意見を踏まえ、子どもは社会の宝であり、多様な家族形態があることを前提に社会全体で子育てを応援する旨を、政策4の基本的方向、施策3①及び②に追記します。	P125 基本的方向 一人一人の子どもの「最善の利益」と <b>子どもの権利保障</b> を第一に考えながら、 <b>子どもは社会の宝であるという認識のもと</b> 、地域や企業などとともに、社会全体で子育てに温かい環境を築くことにより、新潟の将来を担う子どもたちが笑顔で健やかに育つ環境を整えていきます。  P129 施策3 社会全体での子育て支援 ①社会全体で子育てを応援する機運の醸成 ○ <b>子どもは社会の宝であるという認識のもと</b> 、地域や民間事業者との協働により、社会全体が子育て世代に関心を持ち、応援する機運の醸成を図ることにより、子育ての社会化(子育てに社会全体で取り組むこと)を推進します。 ②地域と連携した子育て支援 ○多様な家族形態があることを前提に、地域の様々な人や団体が、子どもと子育て家庭への支援に参画できるよう、地域における子どもたちの見守りと <b>情報提供</b> を継続するとともに、ファミリー・サポート・センターによる子育て家庭への支援等を推進します。
73	政策4 子育て	子育てをする若い世代が参加できる地域のコミュニティを築いていくことが重要であり、結婚するという形だけではなく多様な家族が、地域や社会の中でつながっていくことで、重点戦略6でいう共生社会の実現にも繋がると思われる。SNSなどを通じてそういった人たちが辿り着きやすいような環境を作るとともに、コミュニティに対する補助金などの支援やボランティアが集まるような環境を作っていくことを盛り込んではどうか。	ご意見を踏まえ、多様な家族形態があることを前提としながら、地域が有機的に連携しながら社会全体で子育て支援を行う旨を、新たに設けた施策3②に記載します。 また、重点戦略6の具体的な施策にも、これらの文言を追記します。	P129 施策3 社会全体での子育て支援 ②地域と連携した子育て支援 ○医療機関や学校を含め、様々な関係機関や地域人材が有機的に連携しながら、 <b>子育てを重層的に支援</b> します。 ○多様な家族形態があることを前提に、地域の様々な人や団体が、子どもと子育て家庭への支援に参画できるよう、地域における子どもたちの見守りと <b>情報提供</b> を継続するとともに、ファミリー・サポート・センターによる子育て家庭への支援等を推進します。  P85 重点戦略6 誰もが個性と能力を発揮しながら、心豊かに暮らせる <b>社会</b> の実現 <b>具体的な施策に上記文章を追加</b>

No.	区分	意見	意見に対する市の考え方	対応する文章
74	政策4 子育て	地域共生社会の実現に向け、子ども・子育て施策とも関連させながら重層的支援体制を構築することを盛り込んではどうか。	重層的支援体制の構築は、子育ての分野でも重要であることから、新たに設けた施策3②に文言を追記します。 また、重点戦略6について、子育て施策とも関連させながら重層的支援体制を構築することがわかるよう追記します。	P129 施策3 <b>社会全体での子育て支援</b> ②地域と連携した子育て支援 ○医療機関や学校を含め、様々な関係機関や地域人材が有機的に連携しながら、子育てを重層的に支援します。 P85 重点戦略6 誰もが個性と能力を発揮しながら、心豊かに暮らせる <b>社会</b> の実現 戦略展開の方向 障がいや介護、 <b>子育て</b> などに関する様々な機関が協働し包括的に支援する重層的支援体制を構築し、いつまでも自分らしく安心して暮らせる福祉のまちを目指します。
75	政策4 子育て	子どもの権利を守ることを全体的な考え方として持ちつつ、さまざまな家庭があるなかでも経済的理由によって子どもたちが取り残されることのないように配慮することが重要ではないか。	子どもの権利保障については、子育て政策全般に関わる考え方であることから、基本的方向に追記するとともに、子どもの権利に関する記載は施策1の中に移します。 また、各施策において、子どもの貧困や児童虐待が子どもの権利侵害につながるものであることを明記するとともに、経済的理由によって子どもたちが取り残されることのないように配慮することについては、政策5の施策1③の中で、経済的理由により就学の機会が失われることがないよう、取組を進める旨を記載しています。	P125 基本的方向 一人一人の子どもの「最善の利益」と <b>子どもの権利保障</b> を第一に考えながら、 <b>子どもは社会の宝であるという認識のもと</b> 、地域や企業などとともに、社会全体で子育てに温かい環境を築くことにより、新潟の将来を担う子どもたちが笑顔で健やかに育つ環境を整えていきます。 P127 施策1 出会いから結婚・妊娠・出産・子育てにかけての切れ目ない支援 ① <b>子どもが有する固有の権利の保障</b> ○全ての子どもが豊かな子ども期を過ごすことができるよう、新潟市子ども条例の趣旨を、権利の主体である子どもたちのほか、 <b>幅広い</b> 市民に普及・啓発します。 ○子どもの権利が侵害されたときに適切に対応できる支援体制や、子どもの意見を市政に反映させる取組を進めます。 P128 施策2 子供や家庭への温もりのある支援 ① <b>子どもの貧困対策と困難を抱える子どもへの支援</b> ○子どもの将来がその生まれ育った環境に左右されず、 <b>子どもの安心して生きる権利が守られる</b> よう、子どもの貧困対策に関する取組を着実に推進します。 ② <b>児童虐待の防止と社会的養育</b> ○ <b>重大な子どもの権利侵害である</b> 児童虐待に迅速かつ的確に組織的な対応が行えるよう、デジタル技術を活用するとともに、児童相談所および子ども家庭総合支援拠点職員の専門性向上や体制強化を進めます。 P133 政策5 施策1 ③安心して学べる環境づくり ○経済的理由により就学の機会が失われることがないよう、また、誰もが安心して学習に取り組む、多様な進路選択ができるよう、教育機会の確保に向けた取組を進めます。
76	政策4 子育て	子ども食堂は、貧しい人たちのための場所ではなく、誰もが来てよい場所であることがわかるようにしてはどうか。	多様な子どもやその家族が利用している子ども食堂の現状を踏まえ、子ども食堂に関する記載は、施策1⑤の中に移します。	P127 施策1 出会いから結婚・妊娠・出産・子育てにかけての切れ目ない支援 ⑤ <b>子どもが安心して過ごせる居場所づくり</b> ○ <b>地域団体等が運営する子ども食堂について、地域の核として子どもを含めた多世代が交流し、安心して過ごせる居場所となるよう、必要な支援を行います。</b>

No.	区分	意見	意見に対する市の考え方	対応する文章
77	政策4 子育て	「政策指標A. 婚姻件数」について、これからの時代は必ずしも結婚によらない多様な家庭の形が生まれてくると考えられるため、これを指標とするのが適切かどうかあらためて検討してはどうか。	総合指標②「合計特殊出生率」は、日本においては主に「有配偶率」と「有配偶出生率」の2つの要素で説明されます。この計画では政策指標A「婚姻件数」が前者、政策指標B「夫婦が実際にもつ予定の子どもの数」が後者に対応しており、総合指標の目標を達成するうえでは両方の視点が欠かせないと考えていることから、政策指標は素案のとおりとします。  一方で、ご意見のとおり、家族の形が多様化することを否定するものではないため、あくまでも「結婚や出産を希望する人について、その希望をかなえる」ことを目標とすることとし、希望する人に対する支援である旨を基本的方向及び施策1②に追記するとともに、多様な家族形態がある旨を施策3②に追記します。	P125 基本的方向 <b>子どもと子育てにやさしいまちを目指し</b> 、ライフステージに応じた切れ目のない支援により、 <b>希望する人が安心して結婚し</b> 、子どもを生ま育てることができる新潟市をつくります。  P127 施策1 出会いから結婚・妊娠・出産・子育てにかけての切れ目のない支援 ②出会い・結婚に対する支援 ○民間事業者と連携した出会いの場の創出や、地域を挙げて結婚を応援する機運の醸成を図るなど、結婚を <b>望む人</b> の希望をかなえられる環境づくりを推進します。  P129 <b>施策3 社会全体での子育て支援</b> <b>②地域と連携した子育て支援</b> ○多様な家族形態があることを前提に、地域の様々な人や団体が、子どもと子育て家庭への支援に参画できるよう、地域における子どもたちの見守りと <b>情報提供</b> を継続するとともに、ファミリー・サポート・センターによる子育て家庭への支援等を推進します。
78	政策4 子育て	新潟市の子育て支援の取組は、民間の取組も含めて他の自治体にひけをとらないものであるにもかかわらず、有配偶出生率など子育てに関する指標が高まらない理由について、具体的にどの部分が不足しているのかを丁寧に分析してはどうか。	成果指標の設定にあたっては、右のとおり、EBPMの考え方を踏まえてデータに基づく客観的な評価検証を行うこととしており、それぞれの指標に影響を与えている要素を分析しながら、より効果的な施策を展開できるよう取り組みます。	P66 4(1)政策・施策の全体像 ②成果指標の設定 EBPM(エビデンスに基づく政策立案)の考え方を踏まえて、データに基づく客観的な評価検証を行い、総合計画を中心とした、経営資源の適正配分に向けた政策決定のプロセス強化を図ります。
79	政策4 子育て	新潟市は少子化対策のためにどのような政策・施策に取り組むのか、市民レベル、多様なアクターレベル、地域コミュニティレベル、行政区レベル、全市レベルでどのように重層的に取り組んでいくか、という点について新潟市独自の視点と対策の方向性を示してはどうか。	基本構想の実現に向けて、分野横断的かつ重点的に推進する施策を重点戦略として整理しています。 少子化対策に関しては、子育て支援の施策だけでなく、働きやすい職場づくりや都市の魅力を高めるまちづくりなど、様々な戦略を総合的に展開していくことが重要と考えています。10の重点戦略をひとつの政策パッケージとして推進し、点ではなく面として対応していくことで、子育てにかかる経済的不安・時間的不安・精神的不安の軽減につなげていきます。  そのうえで、ご意見のとおり、市民や民間事業者など多様な主体と連携しながら重層的に進めていくことが重要と考えていますが、それぞれの重点戦略や施策ごとにその役割や取り組み方は異なることから、施策を具体化する際にそれらについても示せるよう努めていきます。	P71-P96 5 重点戦略  重点戦略1 都市機能の充実と拠点性の向上 重点戦略2 地域企業の経営力強化、新たなビジネスや成長産業の創出・育成 重点戦略3 抱負な田園資源を活かした儲かる農業の実現 重点戦略4 魅力と拠点性を活かした交流人口の拡大 重点戦略5 新潟暮らしの魅力発信と多様な支援による移住・定住の促進 重点戦略6 誰もが個性と能力を發揮しながら、心豊かに暮らせる <b>社会</b> の実現 重点戦略7 子育てしやすいまちづくりとこれからの社会をたくましく生き抜く力の育成 重点戦略8 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の実現 重点戦略9 脱炭素・循環型社会の実現 重点戦略10 安心・安全で災害に強いまちづくり
80	政策5 教育	基本的方向に子育てと教育の連携に向けた方向性を示してはどうか。	「子育てと教育の連携に向けた方向性」として、新潟市では切れ目なく支援していくことが重要であるとされており、これまでも連携を図ってきています。ご意見については、既に施策2①の中で、右のとおり記載しており、今後も子育てと教育の連携を推進していきます。 なお、分野横断的に推進する重点戦略7の中でも、子育てと教育の連携についてより分かりやすく記載することを検討します。	P134 施策2 ①家庭教育の充実と子育て支援 ○家庭での教育力の向上に向け、学校と家庭および地域と家庭の連携を推進するとともに、不安や疑問などに対応する学習機会や相談体制の充実に取り組みます。 ○子育て中の保護者が安心して学習できる機会や、家庭での教育に関する情報を提供するとともに、子育ての悩みなどを共有できる仲間づくりを進めるなど、学びを生かす取組を促進します。 ○子どもが言葉を学び、表現力を高め、創造力を豊かなものにする読書活動を推進するとともに、読書を通して親子の絆を深めるための取組を行うほか、誰もが利用しやすい図書館環境を整備します。
81	政策5 教育	新潟市の現状／将来を見据えた課題のうち、地域課題の解決について、生涯学習の推進と地域課題の解決の関係性を整理して記載してはどうか。	「地域の課題解決」として示した内容は、現状の新潟市の課題を抽出した内容となっておりますが、課題を解決するためのポイントである「人づくり」の表現を右のように加筆します。また、施策2②の中で示した内容の書きぶりについては、「地域の課題解決につながる人づくり」を実現するための方法等を示した内容となっており、5つ目の○の表現を右のように修正します。	P132 政策5 新潟市の現状／将来を見据えた課題 地域の課題解決 <b>につながる人づくり</b>  P134 政策5 施策2 ②循環型生涯学習の推進 ○市民の生涯にわたる多様な学習活動 <b>を通して</b> 、地域課題等の解決を支援します。そのため、公民館や図書館等の機能と様々な媒体を有効に活用しながら、情報を積極的に発信するとともに、情報や資料等の収集・提供と相談体制の充実を図ります。

No.	区分	意見	意見に対する市の考え方	対応する文章
82	政策5教育	教育施策について、若者が地元を一旦離れても帰ってきたいと思えるよう、小さい頃から新潟への誇りと愛着を育むように取り組んでいくことがわかるように記載してはどうか。	新潟市では高校生世代までも含め、地域への誇りと愛着を醸成するための取組を進めています。将来にわたって地域への誇りと愛着をもたせることは重要であると認識していますので、委員のご意見も含めて「地域への誇りと愛着をもたせること」については、施策1①の中で、右のとおり表現を修正します。	P133 施策1 学力・体力に自信をもち、世界と共に生きる心豊かな子どもを育む学校教育の推進 ①自己実現していく力の育成 ○学校の特色や地域の実情を踏まえつつ、発達段階にふさわしいキャリア教育を推進し、 <b>将来にわたって地域への誇りと愛着をもち</b> 、社会的・職業的に自立し、集団や社会で様々な人とかかわり、自分の役割を果たしながら自分らしく生きる資質・能力を育みます。
83	政策5教育	キャリア教育の推進にあたっては、令和2年度から導入された「キャリアパスポート」を上手く活用してはどうか。	新潟市においても、令和2年度からキャリア教育推進事業において「キャリア・パスポート」、「キャリア・ノート」の活用を進めているところです。活用にあたっては、児童生徒に将来の「なりたい自分」に向けて見通しを立たせたり、振り返りをさせたりしています。なお、委員のご意見も含めて施策1①において、キャリア教育の推進について、右のとおり記載しています。	P133 施策1 学力・体力に自信をもち、世界と共に生きる心豊かな子どもを育む学校教育の推進 ①自己実現していく力の育成 ○学校の特色や地域の実情を踏まえつつ、発達段階にふさわしいキャリア教育を推進し、将来、社会的・職業的に自立し、集団や社会で様々な人とかかわり、自分の役割を果たしながら自分らしく生きる資質・能力を育みます。
84	政策5教育	幼児期から生涯にかけて教育を保障していくことが大切であることから、幼児教育が見えるような形にしてはどうか。	新潟市では、「幼保こ小連携推進事業」において、幼児期の教育を通して育まれた資質・能力を踏まえた円滑な接続ができるように、幼稚園、保育所、認定こども園と小学校との職員同士の交流や研修等を通して、新潟市共通幼小接続期カリキュラムの周知・浸透を図っています。なお、政策5の基本的方向において、子どもたちの育ちと市民の生涯にわたる学びを支えることとしており、幼児期の教育については、委員のご意見も含めて、施策1①の中で右のとおり記載しています。	P131 基本的方向 「新潟市では、「学力・体力に自信をもち、世界と共に生きる心豊かな子ども」と「生涯を通じて学び育つ、創造力と人間力あふれる新潟市民」の実現に向け、子どもたちの育ちと市民の生涯にわたる学びを支えます。」  P133 施策1 学力・体力に自信をもち、世界と共に生きる心豊かな子どもを育む学校教育の推進 ①自己実現していく力の育成 ○幼児教育・保育施設等との連携や小中一貫した教育の充実により、幼児教育から中学校教育までの連続性を強化するとともに、幼児教育の水準向上に向けた取組を実施します。
85	政策5教育	ICT教育について、タブレット端末などの活用にあたっては、それに依存したりネットトラブルにつながらないよう節度ある使い方を意識することが重要である。子どもだけでなく保護者も含めて、ICTの特性について理解して適切な使用がされるように配慮することを盛り込んでどうか。	ICT機器の使用については、長時間使用による健康面への悪影響やネットトラブル等が懸念されるため、児童生徒及び保護者向けのガイドライン等の中で注意を喚起しています。また、児童生徒のICTの活用については、学校と家庭が連携し対応していく必要があり、情報モラルやデジタル・シティズンシップ(よりよい社会を目指して責任をもってテクノロジーを活用する力)の育成を通して、積極的な活用と共に、適切な使用にも配慮する必要があります。なお、委員のご意見も含めてICTの活用時の配慮については、施策1①の中で右のとおり修正します。	P133 施策1 学力・体力に自信をもち、世界と共に生きる心豊かな子どもを育む学校教育の推進 ①自己実現していく力の育成 ○ICT機器の積極的な活用 <b>とともに、適切な使用にも配慮しながら</b> 、指導方法・指導体制の工夫改善を図り、グローバルな視点を踏まえた持続可能な社会を築くための実践力やプログラミング的思考を育みます。
86	政策5教育	インクルーシブ教育システムの構築について、特別支援学級と通常学級が乖離していくことのないよう、他者との違いや多様性を認めつつ、お互いのよさを認め合っていくような学びを実現できると良いのではないかと。	特別支援学級と通常学級における対応に乖離が生じないように、「お互いの理解を深める」など、一人一人のニーズと課題に対応した特別支援教育を通して、他者との違いや多様性を認めることを学べるようにしていくことが重要だと考えています。そのために、政策5-②において、インクルーシブ教育システムの構築について、委員のご意見も含めて右のとおり記載しており、「一人一人のニーズと課題に対応した特別支援教育を推進」の中で、お互いのよさを認め合っていく学びを実現することを含めています。	P133 施策1 学力・体力に自信をもち、世界と共に生きる心豊かな子どもを育む学校教育の推進 ②豊かな心と健やかな身体の育成 ○共生社会の実現を目指すインクルーシブ教育システムの構築に向けて、就学時から社会参加まで切れ目のない支援を充実し、一人一人のニーズと課題に対応した特別支援教育を推進します。

No.	区分	意見	意見に対する市の考え方	対応する文章
87	政策5教育	ギフテッド教育といわれる、特定の分野において特異な才能のある子どもたちに光を当てる支援について、新潟市も取り組んではどうか。	特異な才能のある児童生徒を含む全ての子どもたちが、自らの理解の程度や知的好奇心に応じ積極的に学習に取り組み、お互いに特性やよさを認め合い、安心感・充実感をもって学校生活を送ることができるようにすることが重要であると考えています。よって、委員のご意見も含めて施策1①及び②の中で、右のとおり記載しています。	<p>P133                      施策1 学力・体力に自信をもち、世界と共に生きる心豊かな子どもを育む学校教育の推進                      ①自己実現していく力の育成                      ○学校の特色や地域の実情を踏まえつつ、発達段階にふさわしいキャリア教育を推進し、将来、社会的・職業的に自立し、集団や社会で様々な人とかかわり、自分の役割を果たしながら自分らしく生きる資質・能力を育みます。</p> <p>②豊かな心と健やかな身体の育成                      ○一人一人の成長を促す生活指導に取り組み、めあてをもち、自己決定し、自主的に行動する自律性と、互いに認め合い、支え合い、高め合う社会性の育成を図ります。</p>
88	政策5教育	「施策1 学力・体力に自信をもち、世界と共に生きる心豊かな子どもを育む学校教育の推進」②豊かな心と健やかな身体の育成について、性被害の増加や若年化が問題になるなか、自分で自分の身を守るためにも、性教育の要素を盛り込んでどうか。妊娠できる時期は限られていることなど、必要な時期に正しい知識を伝えることでキャリア教育や少子化への対応などにもつながるのではないかな。	性教育については、薬物教育やがん教育とともに、これまでも学校教育の中において取り上げ、養護教諭を中心に対応してきました。具体的には、学習指導要領に基づいた発達段階に応じた指導を進めてきており、体の発育発達、性感染症等に関する知識を身につけさせ、適切な行動がとれるように指導しており、性教育は重要な要素と考えています。なお、委員のご意見も含めて自分で自分の身を守り、心豊かな人間性・社会性を身につけさせることについては、施策1②の中で、右のとおり記載しています。また、政策4 子育てにおいて、若者が早い時期から妊娠・出産の適齢期を見据えたライフデザインについて考える機会の創出に取り組むことについては、右のとおり修正します。	<p>P133                      政策5 施策1 ②豊かな心と健やかな身体の育成                      ○自他を尊重する心豊かな人間性・社会性を身に付けるとともに、善悪の判断などの社会のルールを守り、自信と誇りをもって生きることができ力を育みます。                      ○生涯にわたって心身共に健康に生き抜く力を育むため、自らの健康に関心をもち、健康の増進、病気の予防など、健やかに生きるための主体的な健康づくりができるよう支援するとともに、家庭と連携した食に関する指導を推進します。</p> <p>P127                      政策4 子育て                      施策1 出会いから結婚・妊娠・出産・子育てにかけての切れ目ない支援                      ②出会い・結婚に対する支援                      ○若者が<b>早い時期から</b>将来の結婚や子育てのイメージを持ち、妊娠・出産の適齢期を見据えた<b>ライフデザイン</b>を考えられる機会を創出します。</p>
89	政策5教育	教職員自身の暮らしが安定して幸福であることが、子どもたちにも良い影響をもたらすと思われる。教職員も主役であり、新潟市で先生として働きたいと思えるように、教職員自身の家庭が充実するような働き方の実現について盛り込んでどうか。	教職員の働き方については、教職員が授業等の本来業務に健康で、ゆとりをもって臨めるように、多忙化解消行動計画に基づき、設置者として関係機関への接続や地域等への連携がスムーズに行えるような支援を進めているところです。なお、委員のご意見も含めて教職員の働き方改革については、施策1④の中で、右のとおり記載しているほか、重点戦略7の具体的な施策にも追加します。	<p>P134                      施策1 学力・体力に自信をもち、世界と共に生きる心豊かな子どもを育む学校教育の推進                      ④将来にわたって望ましい教育環境の提供                      ○教職員が生き生きと子どもたちと向き合うため、学校と保護者・地域が一体となった働き方改革を推進することにより、働きやすい職場づくりを目指すとともに、心身の健康の保持増進へのきめ細かな支援を充実させます。さらには、子どもの学びをしっかりと把握していくための学習環境の改善を図ります。</p> <p>P90                      重点戦略7 具体的な施策  <b>上記文章を追加</b></p>
90	政策5教育	保護者も地域住民の一員であるので、地域との連携にあたっては、保護者に対しても協力を働きかけてはどうか。	将来にわたって望ましい教育環境を提供していくためには、保護者も含めた地域と学校が連携し、開かれた学びを推進していくことが重要です。なお、委員のご意見も含めて地域との連携の際に、保護者にも協力を働きかけることについては、施策1④及び施策3①の中で、右のとおり記載しています。	<p>P133                      施策1 学力・体力に自信をもち、世界と共に生きる心豊かな子どもを育む学校教育の推進                      ④将来にわたって望ましい教育環境の提供                      ○教職員が生き生きと子どもたちと向き合うため、学校と保護者・地域が一体となった働き方改革を推進することにより、働きやすい職場づくりを目指すとともに、心身の健康の保持増進へのきめ細かな支援を充実させます。さらには、子どもの学びをしっかりと把握していくための学習環境の改善を図ります。</p> <p>P135                      施策3 地域との連携による開かれた学びの推進                      ①地域と学校・社会教育施設の協働                      ○「地域とともにある学校」を目指し、学校と地域が共通の目標をもって、学校と社会教育施設、家庭、地域をつなぐネットワークづくりをさらに進め、子どもの豊かな成長を支える協働事業を一層推進します。</p>

No.	区分	意見	意見に対する市の考え方	対応する文章
91	政策5 教育	新潟市では高校までを見据えた教育を行っていくことを示す必要があるのではないか。また、児童生徒向けアンケートによって測る政策指標についても、高校3年生まで対象にすることで、新潟市で育った子どもたちは、18歳まで地域への愛着やプライドを持ち続けることを示してはどうか。	新潟市には、生徒のニーズに応じた教育課程を選択できる高校・中等教育学校を3校設置しており、各校にスクール・ミッションを位置付け、特色を示しています。その中で、「総合的な探究の時間」においては、「地域や社会との関わりを重視すること」も求められており、「市高等学校教育コンソーシアム」を活用した地域探究学習等を通して、地域連携が促進され、「社会に開かれた教育課程」がより一層活性化されることを目指しています。  また、新潟市では高校生世代までも含め、既に地域への誇りと愛着を醸成するための取組を進めています。新潟市の中学生が全て市立高校へ進学するわけではないため、政策指標には位置付けませんが、将来にわたって地域への誇りと愛着をもたせることは重要であると認識していますので、委員のご意見も含めて「地域への誇りと愛着をもたせること」については、施策1-①の中で、右のとおり表現を加筆し、修正します。	P133 施策1 学力・体力に自信をもち、世界と共に生きる心豊かな子どもを育む学校教育の推進 ①自己実現していく力の育成 ○学校の特色や地域の実情を踏まえつつ、発達段階にふさわしいキャリア教育を推進し、 <b>将来にわたって地域への誇りと愛着をもち</b> 、社会的・職業的に自立し、集団や社会で様々な人とかわり、自分の役割を果たしながら自分らしく生きる資質・能力を育みます。
92	政策6 健康・保健	新潟市が先行して医療・介護・福祉のDXを行うことが、拠点化を進めるうえで重要だと思われる。国や県と連携しながら、さまざまな健診データの蓄積を活用した健康づくりを進めるなど、デジタル技術を活かした施策を盛り込んではどうか。	現在、同趣旨で、新潟県において「にいがた新世代ヘルスケア情報基盤プロジェクト」が進められており、県内データの集約や分析状況等について確認していきます。 なお、データを活用した健康増進の取組について、右のとおり修正します。	P139 施策1 心と身体の健康の増進 ①全ての市民の健康づくりの推進 ○ <b>健診データ等を活用し</b> 、地域や学校、保健・医療関係団体等との協働により、地域の健康課題解決に向けた取組を推進します。」
93	政策6 健康・保健	感染症対策について、通常の感染症対策だけでなく、パンデミックに対する対策を行っていくことを強調してはどうか。	ご意見のとおり、新型コロナウイルス感染症を含め、今後起こり得るパンデミックに対しては、より効果的な対策を講じる必要があると考えています。 「政策6 生涯にわたる健康で安心な暮らしの実現」の「①全ての市民の健康づくりの推進」において、感染症対策に関する記載をしていましたが、パンデミックへの対応も含めた内容であることがより伝わりやすくなるよう、新たに項目を起こし、右のとおり修正します。	P139 施策1 心と身体の健康の増進 ② <b>経験・知見を活かした感染症対策の推進</b> ○感染症の防止に関する市民ニーズの把握や的確な情報発信に努め <b>ます</b> 。医療関係団体等と連携し、 <b>新型コロナウイルス感染症への対応などを経て得た</b> これまでの経験・知見を活かし、より効果的な感染症対策に取り組みます。
94	政策6 健康・保健	総合計画として、主観的なデータだけでなく客観的なデータも取り入れる方向性を示すと良いと思われる。政策6の政策指標のうち、市民アンケートによって測る「政策指標B. 自分が健康だと思う市民の割合」や「政策指標C. 新潟市の医療が充実していると思う人の割合」は、主観的な指標であるため、定量的な指標への変更や追加を検討してはどうか。	総合計画に基づき、各分野で策定する分野別計画において、健診受診率や救急搬送の受入状況のように、客観的・定量的な指標を設定してその進捗を管理していきます。	-
95	政策6 健康・保健	生涯にわたる健康で安心な暮らしの実現を図るうえでは、子どもたちが自身の健康を意識して生活していくことも重要であることから、子どもが自分の健康状態をどのように感じているかを測る指標も盛り込んではどうか。	政策指標を評価する市民アンケートは、18歳以上を対象として実施しているため、子どもの健康状態については含まれませんが、学校において、全国学力・学習状況調査及び新潟市生活・学習意識調査の中で、食生活や睡眠といった健康に関する設問をとおして、児童生徒が自らの健康状態を把握することに繋がる機会を設けるとともに、児童生徒の状況を把握しています。 また、政策5の施策1②において、豊かな心と健やかな身体の育成について、右のとおり記載しています。	P133 政策5 教育 施策1 学力・体力に自信をもち、世界と共に生きる心豊かな子どもを育む学校教育の推進 ②豊かな心と健やかな身体の育成 ○生涯にわたって心身共に健康に生き抜く力を育むため、自らの健康に関心をもち、健康の増進、病気の予防など、健やかに生きるための主体的な健康づくりができるよう支援するとともに、家庭と連携した食に関する指導を推進します。

No.	区分	意見	意見に対する市の考え方	対応する文章
96	政策6 健康・保健	「施策1 こころと身体の健康の増進」④悩みを抱える人のこころの支援」について、周りを気にして過度に悩むことのないよう、自分らしさを大切にするという視点を盛り込んではいかがでしょうか。	ご意見のとおり、自分らしさを大切にすることは重要と考えています。生きづらさを抱えた方が自分らしく生きることができるよう、他の関係分野と連携しながらメンタルヘルス支援を推進することについて、右のとおり修正します。 また、政策5の施策1②において、豊かな心と健やかな身体の育成について、右のとおり記載しています。	P140 施策1 こころと身体の健康の増進 ④悩みを抱える人の心の支援 ○誰もが安心して自分らしく暮らすことができるよう、市民、学校、関係機関・団体と連携・協働して、こころの健康づくりを推進するとともに、総合的な自殺対策やひきこもり支援に取り組みます。  P133 政策5 教育 施策1 学力・体力に自信をもち、世界と共に生きる心豊かな子どもを育む学校教育の推進 ②豊かな心と健やかな身体の育成 ○自他を尊重する心豊かな人間性・社会性を身に付けるとともに、善悪の判断などの社会のルールを守り、自信と誇りをもって生きることができるよう力を育みます。 ○一人一人の成長を促す生活指導に取り組み、めあてをもち、自己決定し、自主的に行動する自律性と、互いに認め合い、支え合い、高め合う社会性の育成を図ります。 ○いじめや不登校等において、予防的な指導や、悩みや問題を抱える児童生徒一人一人に対応する課題解決的な指導に、他の機関などと連携しながら組織的に取り組みます。
97	政策7 福祉	「地域共生社会」の実現は、福祉分野の政策・施策だけでなく、地方創生、まちづくり、教育、労働など、地域の持続性を高める施策との密接な連携が求められることから、それらを踏まえて盛り込んではいかがでしょうか。	ご意見のとおり、地域共生社会の実現には、世代や分野を超えて様々な施策との連携が必要となると考えていることから、地域コミュニティ協議会やNPO、民間企業などの多様な主体が関わる環境をつくり、様々な機関が協働し包括的に支援する重層的支援体制の構築を推進することについて、右のとおり記載しています。  また、本計画においては、分かりやすさを意識し、分野ごとに政策・施策を分けて記載をすることとしていますが、異なる分野間での連携については重視すべきと考えており、「政策・施策を推進する5つの視点」の視点4において、「部署の垣根を越えて組織横断で施策を推進」する旨を記載しています。	P141 基本的方向 「地域包括ケアシステムの理念を広げ、地域コミュニティ協議会やNPO、民間企業など身近にある多様な主体が、地域住民の抱える課題を主体的に把握し解決を試みる環境づくりや、相談を包括的に受け止め、障がいや介護などに関する様々な機関が協働し包括的に支援する重層的支援体制を構築し、いつまでも自分らしく安心して心豊かに暮らせる福祉のまちを目指します。」  P68 4 政策・施策の全体像(1)④政策・施策を推進する5つの視点 視点4 パートナーシップにより目標を達成する 「市役所全体で課題を共有し、都市像の実現に向けて部署の垣根を越えて組織横断で施策を推進します。また、市民、民間事業者、国・県・他市町村など多様な主体と連携・協働できる関係性を構築し、パートナーシップにより目標を達成します。」
98	政策7 福祉	基本的方向について、「心豊かな地域共生社会」というように「心豊か」という言葉を入れてはどうか。そのほかにもキーワードとして「心豊か」という言葉を積極的に使うと、新潟市は心豊かなまちを目指すことが若者などにも伝わるのではないか。	ご意見を踏まえ、右のとおり修正します。	P141 政策7 自分らしくいきいきと安心して心豊かに暮らせる地域共生社会の実現  基本的方向 「…重層的支援体制を構築し、いつまでも自分らしく安心して心豊かに暮らせる福祉のまちを目指します」
99	政策7 福祉	自分たちの生活が今後どうなっていくのかというストーリー性のある説明やハートフルな言葉が盛り込まれていると、多くの人に身近に感じてもらえる計画になるのではないか。	ご意見のとおり、本市の取り組みについて、多くの人に身近に感じていただけることは重要であると考えています。福祉の分野に限らず、各施策を実施する際に、PRの手法や表現等について検討していきます。 また、今後作成を予定する総合計画の「概要版」については、多くの市民の目に触れられることを想定し、より簡潔で分かりやすいものになるよう検討します。	-
100	政策7 福祉	「地域共生社会」の実現にあたっては、支援をする側、受ける側だけではなく、市民一人一人がそれぞれの立場で参加することができる社会を作っていくことが重要である。多数派の方々だけではなく、LGBTのほか子どもや若者、一人暮らしの高齢者などの少数派の方々であったり、なかなか今の社会の中での生きづらさを感じている方々が、自分たちもこの地域の中で暮らしていいのだと実感してもらえるような社会をつくることが見えるようにしてはどうか。	政策7では、少数派とされる方々も含め、全ての方が心豊かに自分らしくいきいきと安心して暮らせる地域共生社会の実現に向けた内容としています。 なお、政策1「誰もが個性と能力を發揮し、活躍できるまちづくりの推進」において、「男女共同参画」や「障がいのある人への理解」、「多文化共生のまちづくり」といった取り組みを記載しています。 重点戦略6および政策7について、ご意見を踏まえて右のとおり修正します。	P85, P141 重点戦略6 戦略展開の方向 および 政策7 基本的方向 「価値観や生活様式が多様化し、様々な背景をもった方々が同じ地域で暮らす中、地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と人、人と社会が世代や分野を超えてつながり、一人一人の暮らしと生きがい、地域を共に創り、誰もが役割をもって活躍できる「地域共生社会」の実現が求められています。」

No.	区分	意見	意見に対する市の考え方	対応する文章
101	政策7 福祉	政策名の「生涯にわたる健康で安心な暮らし」や「自分らしくいきいきと安心して暮らせる地域共生社会」の実現を図るためには、いかに若いころから地域の中で関係性が築けるかということが重要だと思われる。子どもころから地域に関わり、中高年になっても地域と接点を持ち続ける重要性を強調してはどうか。	ご意見のとおり、地域共生社会の実現には、子どもころから地域に関わり、中高年になっても地域と接点を持ち続けることが重要です。そのため世代や分野を超えて様々な施策との連携が必要となることから、庁内に限らず地域コミュニティ協議会やNPO、民間企業などの多様な主体や、様々な機関との協働により取組を推進していきます。なお、こうした考えを踏まえ、政策7の「基本的方向」を記載しているほか、政策1市民活躍の施策1②のなかで、子どもや若者世代の地域活動への参加を促進する旨を右のとおり記載しています。	P141 政策7 自分らしくいきいきと安心して心豊かに暮らせる地域共生社会の実現 基本的方向 「価値観や生活様式が多様化し、様々な背景をもった方々が同じ地域で暮らす中、地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と人、人と社会が世代や分野を超えてつながり、一人一人の暮らしと生きがいが、地域を共に創り、誰もが役割をもって活躍できる「地域共生社会」の実現が求められています。」 P109 政策1 市民活躍 施策1 地域団体・市民団体の活動の推進 ②持続可能なコミュニティづくり ○多世代交流の視点を取り入れた活動を支援することで、子どもや若者世代の地域活動への参加を促進します。
102	政策7 福祉	若者に対する支援や困窮女性に対する支援の観点も盛り込んではどうか。	政策7の施策3「生活に困窮する人に寄り添った自立支援」は、女性や若者を含め、困窮する全ての市民を対象とした内容としており、それぞれの事情や本人の思いに寄り添いながら、性別や年齢を含む個別の状況に応じた支援を行っていきます。また、複合的な問題の解決を要する場合は多い困窮女性への支援が適切に行えるよう、関係機関やNPO法人等の支援団体との連携をさらに深めていく必要があると考えており、右のとおり記載しています。  なお、子どもや若者を大切にしながら施策を推進することは、特定の分野だけでなく、全ての分野において重視すべきと考えており、「政策・施策を推進する5つの視点」の視点2において、「新潟の将来を担う世代の思いを大切にする」旨を右のとおり記載しています。	P145 施策3 生活に困窮する人に寄り添った自立支援 ①個別の状況に応じた支援 ○様々な生活上の課題を抱えた人を早期に把握し、自立相談支援機関につなげられるよう、関係機関との連携を強化します。 ○生活や就労に困難を抱えた人の社会的・経済的不安やおかれている環境を的確に把握し、それぞれの事情や本人の思いに寄り添った支援を行い、自立の促進を図ります。  P68 政策・施策の全体像(1)④政策・施策を推進する5つの視点 視点2 新潟の将来を担う世代の思いを大切にする 「現在世代だけでなく、将来世代まで心豊かに暮らし続けられるまちを築くため、子どもや若者など新潟の将来を担う世代を大切にするとともに、これから生まれてくる子どもたちにも思いを巡らせながら、施策を推進します。」
103	政策7 福祉	介護や看護の人材確保の状況を測る指標を追加してはどうか。	本市では介護人材の確保・定着に取り組むため、「新潟市介護人材確保戦略」を策定しており、人材確保の状況を測る各種指標は同戦略の中で設定・把握していきます。したがって、政策指標はより広義な指標として「住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができると思う高齢者の割合」を掲げますが、介護や看護の人材確保については、この政策指標を向上させる取組の一つとして注力していきます。	-
104	政策8 産業・雇用	新潟市の現状/将来を見据えた課題の「市民所得と地域内経済循環」について、「政策8 地域経済に活力を生み出す産業の振興と雇用の創出」だけでなく、「分野5 産業・交流」の中で生み出すことが重要と記載を加えてはどうか。	地域経済循環については、政策8「産業・雇用」だけでなく、農業や観光などにおいても同様に重要であると認識しています。ご意見を踏まえ、「分野5 産業・交流」の中で生み出すことが重要となるよう修正します。	P147 新潟市の現状/将来を見据えた課題 「市内所得と地域内経済循環」 ○地域経済を活性化させるためには、 <b>農業・観光も含めた市内産業全体で</b> 、地域内外から稼ぐ力を高めるとともに、稼いだお金が地域内で投資・消費され、それがまた新たな所得として循環していく「地域内経済循環」を生み出すことが重要です。
105	政策8 産業・雇用	新潟市の現状/将来を見据えた課題の「多様な人材の活躍」における、若者の市外への転出超過解消の取組について、企業誘致以外の要素も加えてはどうか。	ご意見を踏まえ、若者の市外への転出超過解消への取組に関する記載を右のとおり修正します。	P148 新潟市の現状/将来を見据えた課題 「多様な人材の活躍」 ○新潟市には、大学や専門学校など高等教育機関が集積しており、地域の産業を担う多くの人材を輩出しています。一方で、若者を中心に、職業を理由とした市外への転出超過が続いていることから、魅力ある企業の誘致 <b>や若者の市内就労への意識醸成、市内企業の認知度向上を促進すること</b> などにより、若者に選ばれる雇用の創出が重要です。

No.	区分	意見	意見に対する市の考え方	対応する文章
106	政策8 産業・雇用	「施策1 地域企業の持続的発展に向けた経営支援」④地域経済の持続的発展に向けた取組における商店街の施策について、取組が将来に向かってどのように進んでいくのか具体的に表現してはどうか。	ご意見を踏まえ、商店街の施策の具体的な方向性について右のとおり修正します。	P149 施策1 地域企業の持続的発展に向けた経営支援 ④地域経済の持続的発展に向けた取組 ○商店街が <b>商業機能に加え、世代を超えて人々が交流する機会を創出するなど</b> 、地域住民やコミュニティが求める多様なニーズに応え、持続・発展できるよう、地域の実情に合わせて支援します。
107	政策8 産業・雇用	「施策2 地域経済の活性化に資する新たなビジネスの創出支援」において、挑戦を促す環境づくりへの取組を記載するとともに、官民連携を含めた地域ネットワークの活用などの要素を加えてはどうか。	ご意見を踏まえ、地域ネットワークの活用について右のとおり修正します。	P150 施策2 地域経済の活性化に資する新たなビジネスの創出支援 ①起業・創業しやすい環境づくり ○ <b>企業内起業も含めた</b> 起業家の支援・育成に取り組むとともに、 <b>セミナーやワークショップの開催などを通じて企業や地域などの多様なネットワーク形成を促進することで</b> 、創業しやすく、安定的に事業が継続できる環境づくりに取り組みます。
108	政策8 産業・雇用	施策2において、起業・創業及び新規事業創出に向けた取組などに対し、柔軟に幅広くサポートしていくという方向性を表現してはどうか。	起業・創業及び新規事業創出に向けた取組などに対し、法令等を遵守しながらも、柔軟に幅広いサポートが必要であり、ご意見を踏まえ、右のとおり修正します。	P150 施策2 地域経済の活性化に資する新たなビジネスの創出支援 ①起業・創業しやすい環境づくり ○食関連産業の集積など新潟市の特色を活かした、市内事業者とスタートアップとのオープンイノベーションを促進し、新規事業の創出に際しても課題に寄り添いながら幅広く支援します。
109	政策8 産業・雇用	施策2 ③戦略的な企業立地・誘致の推進 において、もう少し具体的な方向性や表現など、内容を加筆してはどうか。	ご意見を踏まえ、右のとおり修正します。	P150 施策2 地域経済の活性化に資する新たなビジネスの創出支援 ③戦略的な企業立地・誘致の推進 ○ <b>産業活力拠点の形成に向けた</b> 計画的な工業用地の整備と、 <b>充実した広域交通基盤などの</b> 地域特性を活かした企業立地を促進します。  ○企業の立地・誘致の推進により、 <b>多様で魅力ある</b> 雇用の創出を図ります。
110	政策8 産業・雇用	施策2 ④海外ビジネスの推進 において、海外事業の重要性や輸出促進に向けた取組の方向性を加えてはどうか。	海外に向けた販路拡大は重要であると認識していることから、ご意見を踏まえ、右のとおり修正します。	P150 施策2 地域経済の活性化に資する新たなビジネスの創出支援 ④海外ビジネスの推進 ○新潟市の強みである食分野を中心とした <b>輸出促進に向けて</b> 市内事業者の海外販路拡大を支援します。
111	政策8 産業・雇用	施策2 ④の輸出について、個別事業の成果指標として捉えていくことを検討してはどうか。	なお、市単独の輸出額等については技術上把握できないものの、個別事業の成果指標として「輸出」という観点で設定できないか検討します。	
112	政策9 農林水産	「儲かる農業」のイメージが掴みづらいので、イメージがわかるような記載を加えてはどうか。	ご意見を踏まえ、右のとおり修正します。	P153 基本的方向 「良好な営農条件を備えた農業生産基盤の整備・保全と生産体制の強化、販売力の向上を通じて、 <b>若者に選ばれ、農業、農村が元気になる</b> 「儲かる農業」を実現し、意欲ある担い手等の確保・育成により、持続可能な農林水産業を目指します。」
113	政策9 農林水産	将来を見据えた課題として、日本の人口減少による需要の減少、海外の人口増加などを踏まえた、グローバルな観点からの記載を追記してはどうか。	ご意見を踏まえ、右のとおり修正します。	P155 施策1 売れる米づくりと園芸産地づくりの推進 ⑤所得拡大に向けた販売力の強化 ○食の拠点性向上に向けて、食に関する新たなビジネスチャンスを創出するほか、 <b>海外の市場動向や輸出環境等を踏まえながら</b> 、米をはじめとした農産物の輸出促進に取り組みます。

No.	区分	意見	意見に対する市の考え方	対応する文章
114	政策9 農林水産	新潟市の現状/将来を見据えた課題の「スマート農業の加速化」に、国家戦略特区の指定が記載してあるが、国家戦略特区をタイトルとして、「大規模農業の改革」や「スマート農業の加速化」を記載する形にはどうか。	ご意見を踏まえ、右のとおり修正します。	P154 新潟市の現状/将来を見据えた課題 「 <b>国家戦略特区制度の活用</b> 」 ○平成26(2014)年に「大規模農協の改革拠点」として、国家戦略特別区域に指定されて以降、デジタル技術の活用による農業の生産性向上プロジェクトが数多く取り組まれ、その成果は広く農業現場で活用されています。  ○「儲かる農業」の実現には、デジタル技術を活用して、営農の省力化や効率化を進める <b>などスマート農業の加速化</b> が重要です。
115	政策9 農林水産	「施策1 売れる米づくりと園芸産地づくりの推進」③意欲ある担い手等の確保・育成 において、担い手の確保・育成を図るうえで、ターゲットとなる後継者をどのように捉え、対策を講じていくのか補記してはどうか。	農業に意欲ある方が次世代の担い手になっていただきたいと考えています。また、ご意見のとおり、事業の展開にあたっては、ターゲットを意識することで、事業効果が高まるよう事業内容を検討していきます。なお、具体的な対策については、個別の実施計画の中で記載を検討します。	P155 施策1 売れる米づくりと園芸産地づくりの推進 ③意欲ある担い手等の確保・育成 ○新規就農者の技術及び知識の習得や意欲ある担い手が営農を継続できる環境を整備するなど、多様な担い手の確保・育成を進めます。
116	政策9 農林水産	施策1 ④新たな需要に応える農産物の生産体制の強化 における果樹の記載について、「需要はあるものの生産が著しく減少しており、それに対応するための支援を行う」という記載を補記してはどうか。	ご指摘の課題については、「新潟市の現状/将来を見据えた課題」の中で修正し、生産拡大に向けた具体的な対策については、個別の実施計画の中で記載を検討します。	P153 新潟市の現状/将来を見据えた課題 「揺らぐ農業構造」 ○今後、農業就業者の減少と高齢化がさらに進展するものと見込まれています。後継者がいない農家の急増は、 <b>新たな需要に応じた農産物の生産が困難になるおそれがあります。</b>
117	政策9 農林水産	施策1 ⑤所得拡大に向けた販売力の強化 において、販売促進・販路開拓の部分で具体的な方向性や若者の意見を取り入れたSNSでの広報など、もう少し記載を加えてはどうか。	ご意見を踏まえ、右のとおり修正します。 農産物の作付状況や市場の動向、販売店舗での売れ行きなどをみながら、販売促進・販路開拓に取り組んでいきます。また、対面でのPRIに加え、SNSの積極的活用といった具体的な手法等については個別の取り組みの中で検討していきたいと考えています。	P155 施策1 売れる米づくりと園芸産地づくりの推進 ⑤所得拡大に向けた販売力の強化 ○市内農業団体等と連携し、地域一体となって、園芸作物(野菜、果物、花き) <b>やターゲット層に合わせ、時代に対応した手法を活かした</b> 販売促進・販路開拓に取り組めます。
118	政策9 農林水産	「施策2 農林水産業を活かしたまちづくり」において、農林水産業を活かした新しい事業やアイデアに対し、柔軟に幅広くサポートしていくという方向性を表現してはどうか。	ご意見を踏まえ、右のとおり修正します。	P156 施策2 農林水産業を活かしたまちづくり ③新潟の農水産物と食文化を全国に発信 ○新潟市の強みである食と花、食文化の魅力を発信し、多くの人がその魅力に触れられる機会を提供すると <b>ともに、農林水産業を活かしたアイデアにより</b> 食と花の販路の拡大及び都市と農村の交流を推進し、農林水産業の振興と豊かな市民生活の実現を図ります。
119	政策9 農林水産 政策17 防災・消 防・救急	農業分野と防災分野は結び付くところがあることから、農業施設も防災や都市機能の維持に貢献していることを補記してはどうか。	ご指摘を踏まえ、右のとおり修正します。	P156 施策2 農林水産業を活かしたまちづくり ①地域資源を活用し、コミュニティの活力を創出 <b>○市街地の近傍や上流域には水田が広がり、多くの排水施設等が位置しており、これら農地・農業水利施設の多面的機能を活かして流域治水を推進します。</b>  関連する施策 <b>●災害に強い地域づくり … P177</b>  P177 施策1 災害に強い地域づくり 関連する施策 <b>●農林水産業を活かしたまちづくり … P156</b>

No.	区分	意見	意見に対する市の考え方	対応する文章
120	政策10 観光・交流	「施策1 新潟の魅力と優れた拠点性を活かした交流人口の拡大」① 持続可能な観光の推進とおもてなし態勢の強化 において、「新潟 ならではの」文化として古町芸妓を例示しているの、各区の地域 資源についてもいくつか具体例を記載してはどうか。	ご意見を踏まえ、右のとおり修正します。	P162 施策1 新潟の魅力と優れた拠点性を活かした交流人口の拡大 ①持続可能な観光の推進とおもてなし態勢の強化 ○古町芸妓をはじめとした「新潟ならではの」文化や、 <b>伝統行事、街並み、自然環境</b> といった各区の 地域資源の観光コンテンツとしての磨き上げや掘り起こしを進めます。
121	政策10 観光・交流	施策1 ②新潟の個性・魅力と拠点性を活かした誘客の促進 におい て、情報発信の相手を意識していることがわかるよう、また、「様々 なメディア」の具体的イメージが沸くように表現を工夫してはどうか。	ご意見を踏まえ、右のとおり修正します。	P162 施策1 新潟の魅力と優れた拠点性を活かした交流人口の拡大 ②新潟の個性・魅力と拠点性を活かした誘客の促進 ○ <b>SNSをはじめとする</b> 様々なメディアを活用し、ターゲットを意識した効果的な情報発信を行います。
122	政策10 観光・交流	施策1 ②において、どのようなデータに基づき誘客活動を行うの か、具体的な調査内容を付け加えるなど、イメージが沸くような表現 にしてはどうか。	ご意見を踏まえ、右のとおり修正します。	P162 施策1 新潟の魅力と優れた拠点性を活かした交流人口の拡大 ②新潟の個性・魅力と拠点性を活かした誘客の促進 ○ <b>来訪者アンケートや旅行者動態調査などを適宜実施し</b> 、データに基づいた効果的・効率的な誘客 活動を行います。
123	政策10 観光・交流	広域連携の部分において、世界遺産を目指す佐渡市など、具体的 な記載を加えてはどうか。	この度の世界文化遺産推薦決定が、両市にとって交流人口拡大の大き な機会であることは認識しているところですが、総合計画が2023年度から 8年度間に渡って使用するものであることから、素案では、以前から連携 を進めている自治体のうち代表的な都市を例示しています。ご意見を踏 まえ、両市との関連性がわかるよう、右のとおり注釈を入れます。 なお、具体的な事業は、2年度毎に作成する実施計画での記載を検討し ます。	P162 施策1 新潟の魅力と優れた拠点性を活かした交流人口の拡大 ②新潟の個性・魅力と拠点性を活かした誘客の補足審 ○国際港・国際空港や高速道路、新幹線といった高速交通ネットワークを有する拠点性を活かし、ハ イレベルな国際会合・スポーツ大会等を含むMICE誘致、および佐渡市や会津若松市*をはじめとす る県内外の自治体との広域連携により、誘客を促進します。  <b>(ページの下部に注釈を追加)</b> <b>*佐渡市、会津若松市 … 佐渡市とは、2010年から「トキめき佐渡・にいがた観光圏」を形成。2022 年には、佐渡金山の世界文化遺産登録を見据え誘客連携協定を再締結。会津若松市とは、2012年 に観光交流を宣言。</b>
124	政策11 移住・定住	「施策1 多様な支援による移住・定住の促進、関係人口の創出」② 市内への就労促進 において、有給インターンシップをはじめとした 就労促進の要素も表現してはどうか。	インターンシップは、学生にとってはキャリア形成や職業意識の醸成、企 業に対する理解促進が期待でき、企業にとっては魅力発信や実践的な 能力を有する人材の育成につながる有効な取組だと考えますので、市と してどのような関わり方ができるのか、市内就労促進事業など個別の事 業の中で検討していきます。	P167 施策1 多様な支援による移住・定住の促進、関係人口の創出 ②市内への就労促進 ○市内の中学校、高校や大学などと連携し、若者の市内就労への意識醸成や、市内企業を知って もらうための取組を推進します。  ○市内企業の働きやすい職場づくりを支援し、職場環境の魅力向上を促進します。
125	政策11 移住・定住	政策指標において、様々な視点での新潟暮らしの魅力を測り、 フィードバックできるような指標を検討してはどうか。	ご意見のとおり、新潟暮らしの魅力を分析し、より効果的に発信してい くことは重要だと考えますので、県外在住者が参加する移住セミナーや関係 人口創出につながる事業、各区役所の取組など、個別の事業の中でアン ケート調査等を実施し、その結果を活用した施策立案と情報発信を行っ ていきます。	P168 政策指標 A. 大学等新規学卒者の県内就職率【再掲】 B. 職業を理由とした県外との転出入数 C. 関係人口の創出につながる施策を通じて、新潟市の暮らしに興味を抱いた人の割合

No.	区分	意見	意見に対する市の考え方	対応する文章
126	政策12 生活の 安心・安全	高齢者・子ども・障がいのある方など、誰もがこれまで以上に安心して歩けるようなまちづくりを目指すということをどこかに記載すべきではないか。	誰もが安心して歩けるまちづくりは右記の基本的方向に含まれていると考えていますが、分野横断的に取り組んでいく必要があることから、修正箇所を調整のうえ、文言の修正を検討してまいります。	P171 政策12 生活の安心・安全 基本的方向 「世代を問わず誰もが安心して暮らせる安全な新潟市の実現を目指して、官民一体となって犯罪や交通事故の防止対策に積極的に取り組むとともに、被害に遭われた方々を支える仕組みづくりを進めます。」  P187 政策15 インフラ 基本的方向 「市民の日常生活や社会経済活動を支えるインフラについて、日常的な整備により良好な状態を保つとともに、計画的・効率的な維持保全により、現在だけでなく、将来にわたって全ての市民が安心して暮らせるまちを目指します。」
127	政策12 生活の 安心・安全	犯罪の多様化に伴う青少年の被害やサイバー犯罪について、対応する施策を記載すべきではないか。	サイバー犯罪など犯罪の多様化に伴う被害の防止対策については、その性質上、主として国(警察庁)や県警察が実施していますが、本市としても「新潟市犯罪のない安心・安全なまちづくり推進計画」の中に盛り込んでおり、引き続き関係機関と連携を取りながら、予防啓発に取り組んでいきます。	P172 新潟市の現状/将来を見据えた課題 「犯罪の多様化」 ○インターネットの普及やIT技術の進歩に伴い、不正アクセス行為や青少年が被害に遭うネットワーク利用犯罪など、サイバー犯罪の形態も多様化しています。
128	政策12 生活の 安心・安全	「高齢者による交通事故」について、「高齢者が関わる交通事故」と表現を変えたほうが適切ではないか。	ご意見をふまえ、右記のとおり修正します。	P172 新潟市の現状/将来を見据えた課題 「高齢者が関わる交通事故割合の増加」 ○新潟市における交通事故発生件数は年々減少傾向にあるものの、高齢者が関わる交通事故の全交通事故に占める割合は増加傾向にあります。
129	政策12 生活の 安心・安全	交通安全はハード面での対策も重要であるため、関連性を記載してはどうか。	ハード面での対策については分野7 まちづくり・インフラで記載していることから、ご意見を踏まえ、関連する施策が分かるように右記のとおり修正します。	P173 関連する施策 ●災害・事故対策の推進・・・P189  P189 関連する施策 ●交通安全意識の普及・・・P173
130	政策12 生活の 安心・安全	「施策1 生活の安心・安全の確保」②交通安全意識の普及 に関連して、意識啓発だけでなく、高齢者の運転免許証返納への支援についても記載してはどうか。	本市では、タクシー券の配布など的高齢者を対象とした免許の返納促進に取り組んできましたが、一定の成果を果たしたことから、施策の軸をより長く安全に運転していただくための安全運転サポート事業に移しています。なお現在は、運転経歴証明書を提示された方に、区バスの運賃半額割引を行っているほか、市内タクシー事業者が、タクシー・ハイヤー運賃の1割引を実施しています。	P173 施策1 生活の安心・安全の確保 ②交通安全意識の普及 ○特に、高齢者の交通事故防止に向け、体験型の交通安全教育など効果的な手法により、交通事故に遭わない、起こさないという意識の醸成を図ります。
131	政策13 防災・ 消防・救急	「地域防災力」という表現について、災害の被害を最小限に抑えることも重要であるため、「地域防災力・減災力」としてはどうか。	ご意見を踏まえ、右記のとおり修正します。	P175 新潟市の現状/将来を見据えた課題 「地域防災力・減災力の向上」  P177 施策1 災害に強い地域づくり ①地域防災力・減災力の向上

No.	区分	意見	意見に対する市の考え方	対応する文章
132	政策13 防災・ 消防・救急	「新潟地震など」について、最近の災害も踏まえた趣旨とするために、例えば「新潟地震や東日本大震災など」としてはどうか。	大地震については、同じ地域で繰り返し起こる傾向があることから、過去に新潟市などで起こった地震を中心に、最新の知見なども踏まえて、教訓を伝承する必要があると考えています。従って、「新潟地震など」の記載のままとする予定です。	P177 施策1 災害に強い地域づくり ①地域防災力・減災力の向上 ○新潟地震など過去の災害から得られた経験と教訓を伝承することで、防災意識の向上を図る
133	政策13 防災・ 消防・救急	住宅・建築物の耐震化について、耐震調査や家具などの転倒防止についても記載してはどうか。	ご意見を踏まえ、右のとおり修正しました。ただし、耐震調査については、国が5年毎に実施する住宅・土地統計調査を基に、住宅の耐震化率を算出しています。	P177 施策1 災害に強い地域づくり ①地域防災力・ <b>減災力</b> の向上 ○地震による建物の倒壊等の被害から市民の生命を守るため、 <b>家具固定等の安全対策</b> や住宅・建築物の耐震化を促進します。
134	政策13 防災・ 消防・救急	「政策指標A. 地震被害想定における死者数」について、どのような被害想定なのか明記すべきでは。	ご意見を踏まえ、成果指標(総合指標・政策指標)一覧表を右記のとおり修正します。	P263 No.57 地震被害想定における死者数 <b>新潟県地震被害想定調査の想定概要</b> <b>(最も人的被害が大きいケース)</b> ・ <b>想定地震名(断層):長岡平野西縁断層帯</b> ・ <b>地震の規模:マグニチュード7.5</b> ・ <b>想定シーン:冬の深夜強風時</b>
135	政策13 防災・ 消防・救急	政策指標Aについて、施策とのつながりが分かりづらいため、施策の結果が分かりやすい指標にしてはどうか。	防災対策において、災害時の市民の生命を守ることが市の最大の責務であり、そのために様々な対策を講じていますが、現在公表されている最大の被害想定が地震被害想定であるため、それらの対策の成果を確認するため、右の政策指標を設定しました。なお、ご意見を踏まえ、具体的な取組を記載する実施計画では、施策の結果が分かりやすい指標を設定する予定です。	P179 政策13 政策指標 A. 地震被害想定における死者数
136	政策13 防災・消 防・救急	「政策指標B. 日頃から災害に対する備えをしている市民の割合」について、漠然としているため、具体的な指標が必要ではないか。	防災・減災に関する具体的な指標は多岐に渡るため、政策指標では特に重視している「市民の防災意識向上」に関する指標を設定しています。頂いたご意見は、具体的な取組等を示す「実施計画」における取組指標を設定する際に参考とさせていただきます。	P176 政策13 政策指標 B. 日頃から災害に対する備えをしている市民の割合
137	政策13 防災・ 消防・救急	「政策指標D. 病院収容所要時間(119番通報から医師引継ぎまでの時間)」について、全国や県など比較対象を記載したほうが分かりやすいのではないか。	可住地面積、道路、気象状況、救急医療体制など、条件が一律でなく単純に比較ができないことから、政策指標には設定しませんが、他都市の状況などを参考に、救急体制の充実に努めていきます。	P179 政策13 政策指標 D. 病院収容所要時間(119番通報から医師引継ぎまでの時間)
138	政策14 まちづくり	住宅関係の温暖化対策として、ZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)LCCM(ライフ・サイクル・カーボン・マイナス)といった施策を記載してはどうか。	ZEHやLCCMについては右記に含まれていると考えていますが、頂いたご意見は、今後設定する実施計画及び取組指標を検討する際の参考にさせていただきます。	P182 新潟市の現状/将来を見据えた課題 「特徴を踏まえた住宅性能の維持・向上」 ○新潟市は、持ち家率・一戸建て率・木造率が政令指定都市でそれぞれ最も高くなっています。このような特徴を踏まえ、適切な時期に住宅性能の維持・向上を図っていくことが重要です。  P195 施策1 脱炭素社会の創造 ①省エネ・再エネの推進 ○市民、団体、地域の事業者のパートナーシップのもと、住宅など家庭部門のエネルギー削減に取り組むとともに、企業の脱炭素経営を促進するなど、徹底した省エネルギーを進めます。

No.	区分	意見	意見に対する市の考え方	対応する文章
139	政策14 まちづくり	新潟市の現状/将来を見据えた課題の「都心部での緑の不足」について、屋上緑化や壁面緑化といった手法を記載してはどうか。	ご意見を踏まえ、右記のとおり修正します。	P182 新潟市の現状/将来を見据えた課題 「都心部での緑の不足」 ○既存の公園・緑地や街路樹を保全するとともに、 <b>建物の屋上や壁面を活用するなど</b> 、新たに緑を創出、演出していくことが重要です。
140	政策14 まちづくり	都市と田園・自然が「調和・共存」という表現について、「調和・共生」としてはどうか。	総合計画において、「都市」にはインフラや建物のほか、そこに生きる人々を含み、「田園」には田畑だけでなく田園地域が有する豊かな自然を含めて記載しています。 新潟市のまちづくりにおいて、自然を含む田園がいかに重要であるかについては、基本構想等に記載していますが、ご意見を踏まえ都市や人と自然などとの共生について、右のとおり修正します。	P181 新潟市の現状/将来を見据えた課題 「コンパクトなまちづくりの現状」 ○都市と田園が調和・ <b>共生</b> している都市構造は新潟市の大きな特徴です。豊かな田園や自然に包まれた集落の維持・活性化が求められています。  P183 施策1 コンパクト・プラス・ネットワークのまちづくり ①コンパクトなまちづくりの推進 ○都市と田園・自然が調和・ <b>共生</b> し、多様な個性や魅力があふれる地域の集合体であるという新潟市の強みを活かし、多核連携型のまちづくりに取り組みます。
141	政策14 まちづくり	小型バスやタクシーなど民間事業者との連携について、PFS・SIB（成果連動型民間委託契約）といった手法を検討してはどうか。	アフターコロナに向けた地域公共交通分野では、効率性・利便性をより高めるため、新たなファイナンスの可能性についての研究が、国の有識者会議から提言されています。ご意見をふまえ、本市においても動向を確認しながら、民間との新たな連携について検討を進めていきます。	P183 施策1 コンパクト・プラス・ネットワークのまちづくり ②交通ネットワークの強化・充実 ○地域に根差した多様な移動手段を確保するため、小型バスはもとより、タクシーなどの小型車両を組み合わせ、利便性と持続可能性を併せ持つ新たな移動手段の構築に取り組みます。
142	政策14 まちづくり	鉄道駅の整備について、エレベーター設置は住民にとって暮らしやすさの向上につながるため、「エレベーター設置」と明確に記載してはどうか。	ご意見を踏まえ、右記のとおり修正します。	P183 施策1 コンパクト・プラス・ネットワークのまちづくり ②交通ネットワークの強化・充実 ○鉄道駅における交通結節点の機能強化と賑わいの創出を図るとともに、快適性・安全性を高めるため、駅前広場、自由通路 <b>へのエレベーターの設置をはじめとした</b> バリアフリー化など、ユニバーサルデザインの考えに基づいた整備を推進します。
143	政策14 まちづくり	都心部の再開発について、建築物に太陽光パネルを設置してもらおうといった、エネルギーの自給について記載してはどうか。	再開発に合わせた脱炭素化や、太陽光の利用促進については右記に含まれていると考えていますが、ご意見を踏まえ、施策の関連性を明確にするため、右記の通り関連する施策を追記します。	P183 施策2 魅力と賑わいある都心づくり ② 都心部の戦略的な再開発促進 ○都市再生緊急整備地域の規制緩和などを活用し、官民一体となって質の高い投資を呼び込み、都心エリアの再開発に合わせた防災機能強化、脱炭素化、緑化、賑わい創出などを進めます。  関連する施策 ● <b>脱炭素社会の創造・・・P195</b>  P195 施策1 脱炭素社会の創造 ① 省エネ・再エネの推進 ○地域新電力会社などの事業者と連携し、太陽光・廃棄物発電や熱利用など、再生可能エネルギーの地産地消に取り組み、地域の脱炭素化を推進します。  関連する施策 ● <b>魅力と賑わいある都心づくり・・・P183</b>

No.	区分	意見	意見に対する市の考え方	対応する文章
144	政策14 まちづくり	港湾について、災害時のBCP確保という観点から、耐震性の向上・強化を記載してはどうか。	新潟港における耐震性の向上・強化に関するご意見を踏まえ、右のとおり修正します。	P184 施策3 広域的な拠点機能の強化 ①拠点機能の充実・強化 ○新潟港における耐震性やコンテナターミナル機能の向上など、港湾機能強化に向けた整備を促進するとともに、クルーズ船誘致やポートセールスを行い、新潟港の利用を活性化します。
145	政策14 まちづくり	空き家対策に加えて、木造密集地の火災対策(非木造や空き地の配置など)を記載してはどうか。	頂いたご意見を参考にさせていただきながら、木造住宅が密集する地域を含め、火災対策は出火防止や初期消火が重要であることから、引き続き火災予防広報や住宅火災の早期発見・早期避難のため、住宅用火災警報器の設置・維持管理を進めていきます。	P178 施策2 消防体制の充実 ①火災予防 ○火災原因の傾向に基づいた具体的な防火対策の普及啓発などについて、SNS等を活用した効果的でわかりやすい火災予防広報に取り組みます。  ②火災による被害の低減 ○住宅火災の早期発見・早期避難のため、住宅用火災警報器の設置・維持管理を促進します。
146	政策14 まちづくり	空き家対策について、啓発事業や空き家バンクといった具体的な対策を記載してはどうか。	空き家対策については、右記に含まれていると考えておりますが、具体的な対策に関するご意見をふまえ、実施計画を策定する際の参考にさせていただきます。併せて、空家等対策計画に基づいた取り組みを引き続き進めていきます。	P185 施策4 安心して住み続けられる良好な住環境の創出 ①安心・安全で快適な住まい・住環境づくり ○空き家は放置されると様々な問題が生じる一方、地域にとっても貴重な資源となり得ることから、適正な維持管理や有効活用に向けた空き家対策を推進します。
147	政策14 まちづくり	「政策指標C. 都心エリアの平均地価変動率」について、オフィス空室率や従業員数など、商業地としての集積や賑わいを測る指標にしてはどうか。	地価の決定には、都市のポテンシャルに関する様々な要素が反映されることから、戦略的な再開発の促進、ビジネス拠点の形成、魅力的な雇用の場の創出、地域資源の高付加価値化や人中心のウォーカブルな空間形成など、「魅力と賑わいのある都心づくりを進めるうえで、「都心エリアの平均地価変動率」が政策効果を包括的に捉えることができると考えています。	P186 政策14 まちづくり 政策指標C. 都心エリアの平均地価変動率
148	政策14 まちづくり	「政策指標D. 都心部で以前と比べ緑が増えたと思う市民の割合」について、壁面緑化を含めた緑被率など客観的な指標にしてはどうか。	都心部における緑の創出は、新たに緑化された面積を加えて、エリア全体の緑被率として算出したとしても、緑被率としてはわずかな数値でしか現れないことが想定され、わかりにくいと考えられることから、政策指標としては、市民が実際に感じる定性評価として設定することとします。なお、緑被率については、具体的な取り組みを展開していく中で参考値として把握することを検討します。	P186 政策14 まちづくり 政策指標D. 都心部で以前と比べ緑が増えたと思う市民の割合
149	政策15 インフラ	下水道施設の課題や厳しい状況について、市民が安心できるように表現した方がよいのでは。	ご意見を踏まえ、課題と施策の関連性を明確にするため、右記のように修正します。	P190 施策3 安心・安全で持続可能な下水道の推進 ①下水道施設の機能確保と計画的な改築 ○下水道施設の老朽化が進むなか、安心・安全で、持続可能な下水道サービスを提供するため、予防保全型の維持管理を行うとともに、施設の統廃合を含め計画的な改築を推進します。
150	政策15 インフラ	下水道管渠について、総延長を記載したほうが分かりやすいのでは。	ご意見を踏まえ、右記のように修正します。	P188 新潟市の現状/将来を見据えた課題 「下水道施設の老朽化」 ○新潟市の下水道管渠約3,900kmのうち、標準的な耐用年数の50年を経過したものは100kmを越えており、今後、急速に増加する見込みです。
151	政策15 インフラ	水害対策として、新潟市らしい流域治水(田んぼの遊水地など)の考え方を記載してはどうか。	ご意見を踏まえ、右記のように修正します。	P177 施策1 災害に強い地域づくり ①地域防災力の向上 ○気候変動の影響による水災害リスクの増大に備えるため、河川の流域のあらゆる関係者と協働し、地域の特性に応じたハード・ソフト一体の治水対策を推進します。  関連する施策 ●「売れる米づくりと園原産地づくりの推進・・・P155

No.	区分	意見	意見に対する市の考え方	対応する文章
152	政策15 インフラ	「政策指標A. 道路(橋を含む)が適切に整備・管理されていると思う市民の割合」について、整備率や修繕度合いなどといった定量的・定数的な指標にしてはどうか。	整備や修繕の対象となるインフラが多岐にわたるため、定量的・定数的な指標で一律に指標化することが困難であることから、定量的・定数的な指標については、個別の施策における実施計画や取組指標を検討する際の参考にいたします。	P191 政策15 インフラ 政策指標A. 道路(橋を含む)が適切に整備・管理されていると思う市民の割合
153	政策15 インフラ	「政策指標B. 一人当たり年間平均断水・濁水時間」について、ダウンサイジングの進捗などを測れるような指標にしてはどうか。	総合計画では、市民生活に直接もたらされる結果を指標として掲げることとしていることから、ご意見の趣旨については、総合計画と整合性を持つ下位の計画である「新潟市水道事業中長期経営計画(マスタープラン)」において、事業進捗や達成率を測る各指標により評価しながら取り組んでいきたいと考えています。	P191 政策15 インフラ 政策指標B. 一人当たり年間平均断水・濁水時間
154	政策16 環境	基本的方向について、新潟市議会の気候非常事態宣言を踏まえた文言としてはどうか。	ご意見を踏まえ、右記のように追記します。	P193 新潟市の現状/将来を見据えた課題 「地球温暖化と気候変動」 ○市議会では令和3(2021)年3月に気候非常事態宣言を決議しました。
155	政策16 環境	「温室効果ガスの現状」のCO <sub>2</sub> 排出量について、1世帯当たりではなく1人当たりで評価したほうが適切ではないか。	家庭部門におけるCO <sub>2</sub> 排出量を減らすため、本市は住宅の断熱性能の向上や、省エネ家電購入など、世帯単位での対策を推奨していること、また、環境省の調査においても、世帯当たりの数値として取りまとめられていることから、右の表記としています。	P193 新潟市の現状/将来を見据えた課題 「温室効果ガスの現状」 ○ほかの政令市と比較して、平成30(2018)年度の家庭部門における1世帯当たりの排出量は、ワースト2位でした。
156	政策16 環境	生物多様性について、地球温暖化との関係性や、外来種の増加、絶滅危惧種の増加といった内容を入れてはどうか。	ご意見を踏まえ、右記のように修正します。	P194 新潟市の現状/将来を見据えた課題 「気候変動による様々な影響」 ○このまま何も対策を取らず、地球の温暖化が進めば、氷河の減少や、海面の上昇、異常気象などを引き起こし、私たちの生活や健康のみならず、動植物の生息・生育環境にも大きな影響を及ぼす恐れがあります。 「生物多様性への影響」 ○外来生物は人間の意図を超えて生息・生育域を拡大し、在来種の生息・生育環境を脅かしています。
157	政策16 環境	具体的な施策の「省エネ・再エネの推進」について、LNG(液化天然ガス)、アンモニア、水素、洋上風力といった二酸化炭素等の排出量が少ないとされるエネルギーについて記載してはどうか。	右のとおり、太陽光・廃棄物発電や熱利用など、再生可能エネルギーの地産地消に取り組むと表記しています。また、幅広いエネルギー資源については、その利用可能性を視野に入れながら、取り組みを進めていきます。	P195 施策1 脱炭素社会の創造 ①省エネ・再エネの推進 ○地域新電力会社などの事業者と連携し、太陽光・廃棄物発電や熱利用など、再生可能エネルギーの地産地消に取り組み、地域の脱炭素化を推進します。
158	政策16 環境	「施策2 循環型社会の推進」②「地域の環境美化の推進」の「若年層が参加しやすい啓発手法を検討」について、幅広い年代層を対象とした表現にしてはどうか。	ご意見を踏まえ、右記のように修正します。	P196 施策2 循環型社会の推進 ②地域の環境美化の推進 ○幅広い年齢層が参加しやすい啓発手法を検討しながら、多様な主体と連携・協働した環境美化活動を推進します。
159	政策16 環境	施策2②について、他自治体の事例を参考に、環境美化の啓発にかかる具体的な手法を検討してもらいたい。	環境美化の啓発手法については、一般廃棄物処理基本計画に明記しているほか、ご意見のとおり、他自治体の事例を参考に、引き続き具体的な手法を検討していきます。	P196 施策2 循環型社会の推進 ②地域の環境美化の推進 ○環境美化意識やマナーの向上を図り、違反ごみ、不法投棄対策に取り組めます。

No.	区分	意見	意見に対する市の考え方	対応する文章
160	政策16 環境	施策2③持続可能なごみ処理体制の整備 の大規模災害時の体制について、国や県などとの関係構築を記載したほうがいいのでは。	ご意見をふまえ、右記のように修正します。	P196 施策2 循環型社会の推進 ③持続可能なごみ処理体制の整備 ○大規模災害時に <b>円滑・迅速に対応し、適切かつ安定的に災害廃棄物を処理できるよう、関係機関・団体との連携・協力を図り、仮置き場の設置・運用などをはじめとした災害に備えた体制を構築します。</b>
161	政策16 環境	災害時の廃棄物について、一時保管場所の確保といった対策を記載してはどうか。	ご意見を踏まえ、右記のように修正します。	P196 施策2 循環型社会の推進 ③持続可能なごみ処理体制の整備 ○大規模災害時に <b>円滑・迅速に対応し、適切かつ安定的に災害廃棄物を処理できるよう、関係機関・団体との連携・協力を図り、仮置き場の設置・運用などをはじめとした災害に備えた体制を構築します。</b>
162	政策16 環境	ラムサール条約湿地の自治体認証を打ち出していくことは重要ではないか。	ご意見を踏まえ、右記のように修正します。	P92 重点戦略9 脱炭素・循環型社会の実現 戦略展開の方向 ○ <b>ラムサール条約の湿地自治体として国内で初めて認定された新潟市の強みである、日本海、2つの大河、16の潟などの水辺空間や豊かに広がる田園・里山など、多様で美しい自然環境を将来世代に引き継ぐためには、脱炭素・循環型社会の実現に向けた戦略展開が重要です。</b>
163	政策16 環境	「施策3 自然との共生」に「環境教育を推進し、小中学生はじめ市民に対する環境教育、生物多様性教育を推進し、環境NGOなどと協力し、自然環境に対する知識の普及啓発を高めます。」と記載してはどうか。	ご意見を踏まえ、右記のように修正します。	P197 施策3 自然との共生 ①自然との共生 ○ラムサール条約湿地自治体認証制度に基づく、国内初の認証を受けた都市として、地域や民間事業者と連携・協働し、ラムサール条約湿地である佐潟をはじめとした里潟や里山の保全、 <b>市民への自然環境に対する知識の普及啓発</b> に取り組み、生物多様性の保全と自然環境の賢明な利用につなげます。
164	政策5 教育 政策16 環境	次世代を担う子どもたちが自然環境を守る意識を持つよう、環境教育を推進して積極的に行動できる人材を育成することを記載すると良いのではないか。	学校教育を通じて自然環境を守る意識を育むことは重要と考えており、環境学習を行うことも含めて右のとおり記載しています。また、子どもたちだけでなく市民全体に対して、自然環境に関する意識啓発を推進していくため、ご意見を踏まえ、環境分野において右記のとおり修正します。	P133 施策1 学力・体力に自信をもち、世界とともに生きる心豊かな子どもを育む学校教育の推進 ①自己実現していく力の育成 ○アグリ・スタディ・プログラムの推進などにより、持続可能な社会の実現に向け、よりよく問題を解決するとともに、豊かな食の恵みに感謝し、いのちや人の絆を大切に育みます。 P197 施策3 自然との共生 ①自然との共生 ○ラムサール条約湿地自治体認証制度に基づく、国内初の認証を受けた都市として、地域や民間事業者と連携・協働し、ラムサール条約湿地である佐潟をはじめとした里潟や里山の保全、 <b>市民への自然環境に対する知識の普及啓発</b> に取り組み、生物多様性の保全と自然環境の賢明な利用につなげます。
165	政策16 環境	「政策指標C. コハクチョウ飛来数」は生物多様性との因果関係が薄いので、ほかの指標を検討してはどうか。	ご意見をふまえ、より生物多様性の保全への貢献がわかりやすい30by30目標の考えに基づく指標に変更します。	P198 政策16 環境 政策指標C. <b>市内の陸域における生物多様性保全に資する地域の割合</b>
166	行政運営	用語について非常に横文字が多すぎるため、分かりやすくなるような工夫をしてはどうか。	平易な表現になるように、置き換えられるものについては置き換えを行います。置き換えが難しいものは用語訳を記載します。	下記の例のように、複数箇所修正いたしますが、修正部分が多数となるためここでの表記はいたしません。 (修正箇所の例:「デジタル3原則」、「デジタルデバйд」について、記載ページの下部に用語訳を記載など)

No.	区分	意見	意見に対する市の考え方	対応する文章
167	行政運営	高齢者など、デジタル技術の活用が苦手な人についてのフォローアップについて、記載してはどうか。	行政サービスのデジタル化にあたっては、例えば、オンラインで手続を行えるようにしても、従来の郵送での手続も引き続き可能にするなど、社会のデジタル化の進展を踏まえながら、多種多様なニーズに配慮する必要があると考えていることから、右のとおり修正します。	P204 施策3 自治体DXの推進 ①DXによる行政サービスの利便性の向上 ○行政サービスのデジタル化にあたっては、多種多様なニーズに配慮するとともに、全ての市民がデジタル化の恩恵を享受できるよう、デジタルデバインド対策に取り組みます。
168	行政運営	SDGsのアイコンとして、5番のジェンダー平等が掲げられているが、新潟市の現状/将来を見据えた課題のところに表現として加えてはどうか。関連していると思われる「施策4 市政を支える職員育成と環境整備」①次代に対応した人材の育成 については、表現を工夫してはどうか。	ご意見を踏まえ、右のとおり修正します。	P202 新潟市の現状/将来を見据えた課題 「新しい時代の人材育成」 ○これまで、職員一人一人が持つ能力を最大限に発揮でき、市民から信頼される職員の育成に取り組んできました。  ○今後、さらに高度化・複雑多様化する行政課題を解決していくため、性別や障がいの有無に関わらず、職員の能力や意欲の向上とそれらを最大限に引き出す組織マネジメントに取り組み、組織力の向上と働き方改革を一層推進する必要があります。  P204 施策4 市政を支える職員育成と環境整備 ①次代に対応した職員の育成 ○性別や障がいの有無に関わらず、職員がその能力を発揮できるよう、職員研修や人事制度、職場風土などのあらゆる観点から、組織全体で取り組みます。
169	行政運営	「施策1 市民の視点を大切にしたい信頼される市政の推進」と施策4 ①の中に記載のある、「市民視点」と「市民目線」という言葉の使い分けについて、表現を工夫してはどうか。	市民の立場に立った市政を推進していく意味合いから「市民の視点」を使い、表現を統一します。	P203 施策1 市民の視点を大切にしたい信頼される市政の推進 ①市民の視点に立った信頼される市政の推進 他
170	行政運営	施策1①市民目線に立った信頼される市政の推進 について、市民と行政の情報の相互活用という目線を加えてはどうか。	ご意見を踏まえ、市民と行政の情報の相互活用は重要であると考えますので、右のとおり相互活用していく目線を加えた表現にします。	P203 施策1 市民の視点を大切にしたい信頼される市政の推進 ①市民の視点に立った信頼される市政の推進 ○市民の声をしっかりと聴きとるとともに、効果的な発信手段を用いてわかりやすい広報を行います。市民の意見や行政情報が市民と市役所双方に的確に伝わり、活用されることで政策・施策の効果を高めていきます。  ○市民の信頼と期待に応えられるよう、職員の市民対応の質を向上させるなど市民の視点を大切にしたい信頼される市政を推進していきます。
171	行政運営	施策1① に記載のある「聞く」という言葉について、「聴く」に変えてはどうか。	ご意見を踏まえ、市民の声の内容を理解し、応じるという意味合いから、ご指摘のとおり「聴く」に表現を修正します。	P203 施策1 市民の視点を大切にしたい信頼される市政の推進 ①市民の視点に立った信頼される市政の推進 ○市民の声をしっかりと聴きとるとともに、効果的な発信手段を用いてわかりやすい広報を行います。市民の意見や行政情報が市民と市役所双方に的確に伝わり、活用されることで政策・施策の効果を高めていきます。

No.	区分	意見	意見に対する市の考え方	対応する文章
172	行政運営	「施策2 人口減少の進行を踏まえた経営資源の効果的配分と民間活力の導入推進」の中に記載のある、「経営資源」と「行政資源」という言葉の使い分けについて、表現を工夫してはどうか。	「経営資源」と「行政資源」について、大意は同一なことから、ご意見を踏まえ、「経営資源」に統一し、右のとおり修正します。	P203 施策2 人口減少の進行を踏まえた経営資源の効果的配分と民間活力の導入推進 ①経営資源の効果的・効率的配分
173	行政運営	「施策3 自治体DXの推進」の「自治体DX」について、具体的なイメージが湧くような表現にしてはどうか。	ご意見を踏まえ、右のとおり修正します。	P204 施策3 自治体DXの推進 ①DXによる行政サービスの利便性の向上 ○デジタル技術の導入自体を目的とするのではなく、市民の視点で業務のあり方を見直すことで、行政サービスのデジタル化による市民の利便性向上を目指します。  ○マイナンバーカードを活用し、誰もが時間や場所に制約されず、オンラインで手続きを行えるようにします。
174	行政運営	施策3 ②DXによるスマートな行政の実現 について、デジタル化するうえでのリスク管理に対し、市民の不安を取り除くために、より積極的な姿勢を打ち出していくような、表現にしてはどうか。	ご意見を踏まえ、右のとおり修正します。	P204 施策3 自治体DXの推進 ②DXによるスマートな行政の実現 ○デジタル化への取り組みをより安心で安全なものにするため、技術的な情報セキュリティ対策の導入に加え、職員研修にも積極的に取り組みます。
175	行政運営	「政策指標C. 民間活力導入効果」について、現状値ゼロ円とは何を意味しているのか、少し説明を加えてはどうか。	令和4年度の数値が「0円」という表記では誤解を招きやすいことから、ご意見を踏まえ、右のとおり修正します。	P205 政策指標C. 民間活力導入効果 現状値「-」 欄外に注釈を追記 「※令和4年度を基準とし、そこからの導入効果額を積み上げし計上」
176	財政運営	財政運営の記載内容に関して、市民にわかりやすく、市民一人あたりといった単位あたりのコストを示すなど、表現を工夫してはどうか。	ご意見を踏まえ、右のとおり修正します。 あわせて、市債残高と同様に、基金と公共施設延床面積についても、市民1人当たりのグラフを掲載するなど、市民の皆さまにわかりやすく、本市財政運営の状況の共有を図ります。	P207 新潟市の現状/将来を見据えた課題 「基金と市債残高の状況」 ○緊急時の財政需要への備えである基金残高は、平成29(2017)年度末の33億円から令和3(2021)年度末に107億円となりましたが、他政令指定都市と比べて市民1人当たりの基金残高は少額となっています。引き続き行財政改革に取り組むことで、残高を確保していく必要があります。
177	財政運営	行財政運営について、市民に現状と対応する取組がしっかり伝わるよう、丁寧に示してはどうか。例えば、「政策指標 A. 将来負担比率」について、より分かりやすくするか、別の指標を検討してはどうか。	ご意見を踏まえ、市債残高と同様に、基金についても、市民1人当たりのグラフを掲載するなど、市民の皆さまにわかりやすく、本市財政運営の状況の共有を図ります。  「将来負担比率」は、いわば年収に対する将来の支払額を表すもので、市債の残高や退職手当の支給見込額など、様々な要素を網羅した総合的な指標であるため、総合計画の成果指標として適切なものと考えておりますが、この用語の説明について、参照しやすいよう用語解説を該当ページの下部に掲載するとともに、より分かりやすい説明となるよう、右記のとおり表現を改めます。	P211 政策指標A. 将来負担比率 用語解説 「健全化判断比率の1つ。地方公共団体の一般会計等が現在抱えている負債の大きさを指標化し、将来財政を圧迫する可能性の度合いを示すもの。」  ※算定式 $\text{将来負担比率} = \frac{\text{将来負担額(地方債現在高等)} - \text{充当可能財源(基金現在高等)}}{\text{標準財政規模} - \text{交付税算入公債費等}}$

No.	区分	意見	意見に対する市の考え方	対応する文章
178	財政運営	「施策2 ファシリティマネジメントの視点に基づく財産経営の推進」の表題に記載のある、「ファシリティマネジメント」という言葉について、分かりやすくなるよう、表現を工夫してはどうか。	ご意見を踏まえ、右のとおり修正します。	P210 施策2 <b>長期的な視点に立った</b> 財産経営の推進
179	財政運営	施策2②公共施設やインフラ資産の長寿命化 について、未利用地に関する視点を加えてはどうか。	ご意見を踏まえ、右のとおり修正します。	P210 施策2 <b>長期的な視点に立った</b> 財産経営の推進 ① <b>財産経営の推進</b> <b>○公共施設等の集約や統廃合などを行う際に生じる跡地は原則売却し、財源の確保に努めます。また、売却困難地や公共施設等の未利用スペースは、民間事業者への貸付を検討するなど財産の有効活用による歳入確保に努めます。</b>
180	多様な主体との連携	新潟市の現状/将来を見据えた課題の「パートナーシップの重要性」について、障がいの団体等とも連携していくことが分かるように、表現を工夫してはどうか。	パートナーシップを深めていくべき「多様な主体」には、健常者、障がいの者との区別なく、様々な分野における多様なパートナーを想定しています。そのため、個別の分野のパートナーに関する内容は記載していませんが、あらゆる分野の政策において、基本的方向に記載したとおり、多様な主体と連携を深め、協力してまちづくりを進めていきます。	-
181	多様な主体との連携	新潟市の現状/将来を見据えた課題の「住民自治の推進」について、民間活力の活用の代わりに、地域経営に関する視点を加えてはどうか。	ご意見を踏まえ、右のとおり修正します。	P214 新潟市の現状/将来を見据えた課題 「住民自治の推進」 <b>○持続可能な住民自治を実現するためには、地域経営の視点に基づく活動内容の見直しや、民間・市民の活動の連携・協働を進めるほか、地域外人材の活用などが重要になってきます。</b>
182	多様な主体との連携	「政策指標A. SDGsの達成に向けて具体的に取り組んでいる市民の割合」について、SDGsと限定せず、より包括的に捉えられるような表現になるよう、工夫してはどうか。	政策指標の「A.SDGsの達成に向けて具体的に取り組んでいる市民の割合」は、SDGsの考え方を意識して政策・施策を推進するとともに、SDGsを共通言語としてパートナーシップを構築していくにあたり、その基礎となる市民のSDGsに関する認知度や取り組み度合いを測るため、指標として設定したものです。なお、地域活動への市民の参加状況については、政策1の指標「A. 地域活動に参加した経験のある市民の割合」において測っていくこととしています。	-
183	多様な主体との連携	「政策指標B. 地域団体、民間事業者、学校など多様な主体との協働数」について、市民や企業からの協働提案に関する指標を追加してはどうか。また、全庁的に協働を推進するための体制整備について、記載してはどうか。	市民や企業からの協働提案数に関する指標については、提案を募集し支援する取り組みの検討と合わせ、本計画の具体的な取り組みをお示しする実施計画の中で、取組指標として設定することを検討します。  全庁的に協働を推進するための体制整備については、多様な主体と連携・協働できる関係性を構築し、パートナーシップにより目標を達成するという視点を、右記のとおり、各分野共通のものとして掲げていることから、この計画全体の中で全庁的に進めていくこととしています。	P68 4 政策・施策の全体像 (1) ④政策・施策を推進する5つの視点 視点4 パートナーシップにより目標を達成する 「市役所全体で課題を共有し、都市像の実現に向けて部署の垣根を越えて組織横断で施策を推進します。また、市民、民間事業者、国・県・他市町村など多様な主体と連携・協働できる関係性を構築し、パートナーシップにより目標を達成します。」

No.	区分	意見	意見に対する市の考え方	対応する文章
184	区におけるまちづくりの方向性	区ビジョン基本方針と新潟市全体の都市構想との関連や、各区どうしの連携、全体イメージの中での区の将来像や区を横断したまちづくりなどについて記載した方が良いのではないかと。	ご意見をふまえ、右のとおり修正します。	<p>P220 7 区におけるまちづくりの方向性 (1)区におけるまちづくりの方向性</p> <p>また、地域のことを地域自らが考え、自らが行動できることを目指し、自治基本条例の制定や、区自治協議会の設置により、地域の特性を活かした自治を進めてきました。</p> <p><b>8つの区は、それぞれの地域を形づくってきた歴史と固有の文化、地域資源や風土に合った産業など、様々な特色と魅力にあふれています。それぞれの区の特長と魅力が「新潟市」という集合体として一つになることで、「都市と田園の調和によりもたらされる暮らしやすさ」をはじめとした、新潟市の「強み」を生み出しています。人口減少時代に躍進する「活力あふれるまちづくり」と「持続可能なまちづくり」を進め「田園の恵みを感じながら 心豊かに暮らせる 日本海拠点都市」を実現するためには、区の特長を活かしたまちづくりを推進するとともに、区を超えた連携や多様な主体との協働を進め、その魅力を発展させ続けていくことが重要です。</b></p> <p>これまで以上に区の特長を前面に押し出しながら、区の特長を活かした活力と魅力あふれる区づくりを進められるよう、必要な予算や権限を持つ自治性の高い区役所を目指し、まちづくりの多様な主体と一体となって区政を推進していきます。</p>
185	区ビジョン基本方針	「東区独自の魅力を活用し区内外へ発信することにより、だれもが魅力を感じることができる街を目指します。」の記載について、魅力を感じてもらって”東区としてどうなりたいのか”という観点まで記載してはどうか。	東区区ビジョン基本方針において、「目指す区のすがた」として、地域資源を活用し区内外の人々が交流や関係性を構築する取り組みを通じ、「にぎわうまち」を目指すとして右のとおり記載しています。	<p>P230 7 区におけるまちづくりの方向性 (2)区ビジョン基本方針 東区</p> <p>目指す区のすがた</p> <p>活力ある産業と地域の魅力を活かしてにぎわうまち</p>
186	区ビジョン基本方針	「歩きやすく自転車や公共交通で移動しやすい環境の整備」の記載について、未来を見据えて、次世代モビリティの観点も加えてはどうか。	ご意見を踏まえ、次世代モビリティの観点をもちながら、右のとおり修正します。	<p>P234 7 区におけるまちづくりの方向性 (2)区ビジョン基本方針 中央区</p> <p>目指す区のすがた</p> <p>賑わいと活力あふれ訪れたい拠点のまち</p> <p>「美しい景観形成に努めるとともに歩きやすく自転車や公共交通<b>等多様な手段で</b>移動しやすい環境の整備を進め、まちなかの活性化に向けた回遊性向上を図ることにより、子どもからお年寄りまで誰もが出かけたい利便性の高い、活力に満ちたまちを目指します。」</p>
187	区ビジョン基本方針	「広大な越後平野には手入れの行き届いた水田や畑が広がり」という表現について整理が必要ではないかと。	ご意見を踏まえ、右記のように修正します。	<p>P253 7 区におけるまちづくりの方向性 (2)区ビジョン基本方針 西蒲区</p> <p>区の特長</p> <p>「西蒲区は海・山・平野に抱かれた自然豊かな環境にあり、四季折々の魅力にあふれたエリアです。<b>肥沃な越後平野には水田や畑が広がり</b>、稲作を中心に、園芸作物の生産も盛んです。 また、いにしえより人々の暮らしが連綿と続く歴史・文化と観光のまちでもあり、北国街道の湯治場として栄えてきた岩室温泉の他、名所、史跡も数多くあります。」</p>